

第2次朝霞市環境基本計画 実施計画(令和2年度実績版)

(令和元年度~令和3年度)

水と緑を育む 環境にやさしいまち 朝霞



黒目川 (東林橋付近)



令和3年12月

朝霞市

目 次

計画の基本的な考		4
	<u></u>	
	3	
	∄·····	
	±·····	
	≝ -アップ······	
	É進・進行管理の考え方	
表の見万		3
重点的取組1 水	xと緑の環(自然の保全と再生、水と緑のネットワーク形成)	
【環境指標】を認	没定した事業	4
協働事業1-①	緑豊かなまちづくり(緑の保全と創出)	6
協働事業1-②	水辺づくり(水辺の保全と創出)	15
協働事業1一③	自然の保全と再生	17
協働事業1-④	身近な生きものとのふれあい	20
協働事業1一⑤	水の有効利用	22
重点的取組2 但	医炭素の環(地球温暖化対策の推進、低炭素社会の形成)	
		25
協働事業2一①	エコライフ	
協働事業2-2	環境に配慮した交通手段・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
協働事業2一③	ヒートアイランド対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
協働事業2-④	自然エネルギーの活用	
協働事業2一⑤	CO2削減プラン······	37
重点的取組3 資	資源の環(3Rの推進、循環型社会の形成)	
【環境指標】を認	设定した事業·····	39
協働事業3一①	リデュース	40
協働事業3-2	リユース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
協働事業3一③	リサイクル	43
協働事業3-4	エコネットあさか(リサイクルプラザ)での活動の充実	44
	環境学習の環(環境教育・環境学習の推進)	
	9定した事業	
	環境教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
協働事業4一②	環境学習の推進(学習機会の充実)	
協働事業4一③	環境情報の発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
協働事業4一④	環境学習を支える人の環づくり	51
協働事業4一⑤	環境活動団体の環づくり(交流)	52

計画の基本的な考え方

• 計画の名称

この計画の名称は「第2次朝霞市環境基本計画実施計画」という。

・ 計画策定の趣旨

第2次朝霞市環境基本計画では、環境目標の実現に向けた環境施策のうち、重点的に進める施策と市民・市民団体、事業者の環境保全に係る取組を環境パートナーシップによる協働事業として位置づけ、共通認識のもと、相互に連携を高め、積極的に推進していくこととしている。この実施計画は、重点的取組等に基づいた環境行政施策を計画的かつ効率的に推進していくために策定するものである。

・計画の性格

この計画は、第2次朝霞市環境基本計画に掲げた重点的取組を具体化し、計画推進の指標で設定した目標を年度別に示した計画であり、毎年、内容の見直しをする。

・計画の期間

この計画の期間は、平成30年度から令和3年度までの4か年とし、各年度ごとに実績を調査して掲載するものである。

なお、第2次朝霞市環境基本計画は平成24年度を初年度とし、令和3年度(平成33年度)を目標年次としている。

• 計画の対象範囲

この計画の対象範囲は、第2次朝霞市環境基本計画に掲げた重点的取組に基づく計画推進の指標で、市が実施主体となるもの及び市が助成するものとする。

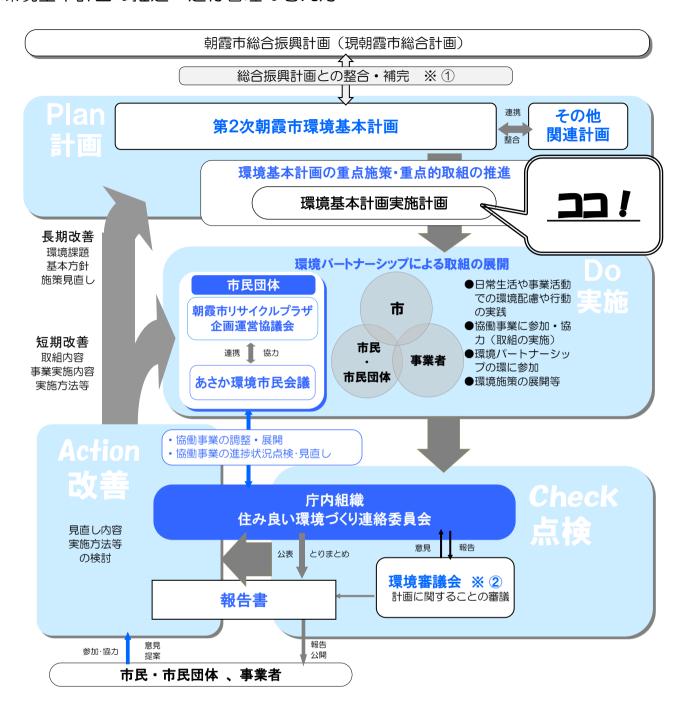
各重点的施策については、第2次朝霞市環境基本計画(P.88~P.95)に掲載されている市の重点的施策のいずれかに位置付けしている。

• 計画の進行管理

市は、市民・市民団体、事業者との協働によって本計画を推進するとともに、本計画に掲げる重点的取組の実施状況等を把握し、「住み良い環境づくり連絡委員会」において点検・評価を行い、報告書にとりまとめ、公表し、市民や事業者の意見を求める。市に寄せられた意見をあさか環境市民会議等、関係団体や庁内関係課と調整を行い、翌年度以降の施策や取組に反映させ、計画をより実効性のあるものとしていく。

• 計画のフォローアップ

この計画では「実績に対する評価」「最終目標値を達成するための改善点」及び 「今後の取組や見直し事項」により、計画の達成度や進行管理に対する評価等を掲載 した。



※ ① 総合振興計画との整合・補完

市は、総合振興計画の実施計画を踏まえ、環境基本計画の実施計画を策定し、その計画的な推進を図っていく。

また、環境基本計画の進行状況等を踏まえ、必要となる取組や施策を、総合振興計画及びその実施計画の見直しに反映するよう努めていく。

※ ② 環境審議会

環境審議会は、環境基本計画に関する事項の審議を行う。 また、市長から諮問があった場合は、計画の見直しについて審議及び答申を行う。

表の見方

※第2次朝霞市環境基本計画が平成23年度の策定であるため、機構改革等により課名変更、事務所管変更等があったものについては、「事業担当課」「所管課又は関係課」について当該基本計画に記載のある当時の課名(旧課名)を併記している。

環境指標を設定した事業

環境指標: 都市公園の箇所数

指標概要: 街区内に居住する市民の憩いと安らぎの場所を確保し、良好な生活環境の向上を

図るため街区公園を整備する。

事業担当課: みどり公園課(旧都市計画課)

<u> </u>			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	41箇所	41箇所	41箇所
実績	新設都市公園 O箇所 整備済都市公園数39箇所	新設都市公園 2箇所 整備済都市公園数39箇所	 令和2年度の「実績」
実績に対する評価	公園不足地域に街区公園の整備を検討したが、公園用地を確保することができなかった。	公園不足地域に街区公園の整備を行い、公園用地を確保することができた。	を掲載 令和2年度の「実績に
最終目標値を 達成するため の改善点	公園用地の借地化・公有地化 を検討し、街区公園を整備す る。	目標値は達成したが、まだ公園不足地域があるため、公園用地の借地化・公有地化を検討し、街区公園を整備する。	対する評価」を掲載
			を達成するための改善点」 第正方法等を掲載

協働事業

協働事業:4-3環境情報の発信

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.94参照

重点的施策: 環境情報の収集と発信

施 策 概 要 : 環境概要冊子「朝霞の環境」や環境啓発冊子を毎年発行する。

新島連又は関係連・ 晋音推進 (IA 晋音保全理)

川宮謀又は関係謀・	<u> </u>	/	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】
目標	冊子を発行し、環境情報の発 信をしていく。	冊子を発行し、環境情報の発信をしていく。	令和2年度の「実績」
実績	「朝霞の環境」発行約200 部	「朝霞の環境」発行約200 部	令和2年度の「実績に
実績に対する評価		引き続き市民の目の届く施設等に配付・掲出するとともに、ホームページ等を活用し、環境情報の発信と啓発に努めた。 「今後のB	
今後の取組 や見直し事項	内容を精査するとともに、市 民が分かりやすい表現や欲し い情報が得られるような構成 に努め、創意工夫を図る。		点・修正方法等を掲載

重点的取組1 水と緑の環(自然の保全と再生、水と緑のネットワーク形成)

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.88参照

【環境指標】を設定した事業

環境指標: 都市公園の箇所数

指標概要: 街区内に居住する市民の憩いと安らぎの場所を確保し、良好な生活環境の向上を図るた

め街区公園を整備する。

事業担当課: みどり公園課(旧都市計画課)

3 7173 - 371		·	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	41箇所	41箇所	41箇所
実績	新設都市公園 O箇所 整備済都市公園数39箇所	新設都市公園 2箇所 整備済都市公園数39箇所	
実績に対する評価	公園不足地域に街区公園の整備 を検討したが、公園用地を確保 することができなかった。	公園不足地域に街区公園の整備 を行い、公園用地を確保するこ とができた。	
最終目標値を 達成するため の改善点	公園用地の借地化・公有地化を 検討し、街区公園を整備する。	目標値は達成したが、まだ公園 不足地域があるため、公園用地 の借地化・公有地化を検討し、 街区公園を整備する。	

<用語解説>街区公園:もっぱら街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離25 Omの範囲内で1箇所当たり面積0.25haを標準として配置される。

環境指標: 市民一人当たり公園面積

指標概要: 市民参加による意見を取り入れた公園計画をつくり、新たな公園を整備することで、市

民一人当たりが必要とする公園面積を確保する。

事業担当課: みどり公園課(旧都市計画課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	2. 78㎡/人	2. 78㎡/人	2. 78㎡/人
実績	2. 18㎡/人	2. 19㎡/人	
実績に対する評価	新設公園の整備ができなかった ため、一人当たりの公園面積を 増やすことができなかった。	新設公園を2箇所開園したが、 人口が増加したため、一人当たりの公園面積を増やすことができなかった。	
最終目標値を 達成するため の改善点	公園用地の借地化・公有地化を 検討し、街区公園を整備する。	公園用地の借地化・公有地化を 検討し、街区公園を整備する。	

環境指標: 市民農園利用率

指標概要: 市民の都市農業に対する理解を深めるとともに、農地の保全を図るため市民農園を設置

及び維持管理する。

事業担当課: 産業振興課

<u> </u>	工具級人。		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	利用率 100%	利用率 100%	利用率 100%
実績	利用率 99%	利用率 100%	
実績に対する評価	ホームページ等を活用し、空き 区画の利用者募集を頻繁に行う ことで、ほとんどの区画を貸し 出すことができた。	ホームページ等を活用し、空き 区画の利用者募集を頻繁に行う ことで、すべての区画を貸し出 すことができた。	
最終目標値を 達成するため の改善点	広報やホームページを利用し、 市民に周知する。 また、定期的 に市民農園を巡回し、雑草繁茂 等で利用辞退者が出ないよう に、指導をしていく。	広報やホームページを利用し、 市民に周知する。 また、定期的 に市民農園を巡回し、雑草繁茂 等で利用辞退者が出ないよう に、引き続き指導をしていく。	

<用語解説> 市民農園:都市住民に自然とのふれあいや農林業体験の場を提供し、地域内外の交流により、地域の活性化を促す体験型農園のこと。

環境指標: 生活環境の保全に関する環境基準値の達成(BOD値)黒目川

指標概要: 河川(新河岸川・黒目川・越戸川)の水質調査(生活環境項目・健康項目・要監視項目

等)、関係機関との連携を図った水質保全、事業所からの排出についての監視・指導を

実施する。

事業担当課: 環境推進課(旧環境保全課)

<u> </u>			7
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	黒目川の水質調査結果 BOD値 1. Omg/ℓ以下 (AA類型河川環境基準値)	黒目川の水質調査結果 BOD値 1. Omg/ℓ以下 (AA類型河川環境基準値)	黒目川の水質調査結果 BOD値 1. Omg/ℓ以下 (AA類型河川環境基準値)
実績	黒目川の水質調査結果 BOD値 上流(大橋付近) 1. $3mg/\ell$ 中流(東林橋付近) 1. $3mg/\ell$ 【参考】 下流(東橋付近) 0. $8mg/\ell$	黒目川の水質調査結果 BOD値 上流(大橋付近) O. 9mg/ℓ 中流(東林橋付近) O. 9mg/ℓ 【参考】 下流(東橋付近) O. 7mg/ℓ	
評価	最上位の河川類型となるAA類型河川の環境基準値を目標値とし、良好な水質状況を保てている。	型河川の環境基準値を目標値とし、良好な水質状況を保てている。	
最終目標値を 達成するため の改善点	引き続き水質状況を監視してい くと共に、水質事故等の防止に 努める。	くと共に、水質事故等の防止に 努める。	
【参考】実績	新河岸川の水質調査結果 BOD値 上流(新宮戸橋付近) 2. $3mg/\ell$ 下流(内間木橋付近) 2. $2mg/\ell$	新河岸川の水質調査結果 BOD値 上流(新宮戸橋付近) 2. Omg/ℓ 下流(内間木橋付近) 1. Gmg/ℓ	
【参考】実績	越戸川の水質調査結果 BOD値 上流(越戸橋付近) 2.0mg/ ℓ 下流(東和橋付近) 1.1mg/ ℓ	越戸川の水質調査結果 BOD値 上流(越戸橋付近) O. $6mg/\ell$ 下流(東和橋付近) O. $7mg/\ell$	

※ 参考として黒目川下流、新河岸川、越戸川の調査結果を掲載している。なお、黒目川下流については、埼玉県の調査結果を掲載している。

<用語解説> BOD(生物化学的酸素要求量):水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量で、河川等の汚濁を示す代表的な指標のこと。

環境基準:環境基本法において「大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染及び騒音に係る環境上の条件について、それぞれ人の健康を保護し、及び生活環境を保全するうえで、維持することが望ましい基準」が定められている。これは、行政上の目標として定められているもので、公害発生源を直接規制するための基準(規制基準)とは異なる。

協働事業: 1-①緑豊かなまちづくり(緑の保全と創出)

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.88参照

重点的施策: 市内に残る貴重な緑の保全

施策概要: 特別緑地保全地区指定による樹林地の保全、保護地区・保護樹木指定による緑の保全、

段斤崖斜面の斜面林の保全を行う。

所管課又は関係課:みどり公園課(旧都市計画課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	新規指定保護地区 1 地区 新規指定保護樹木 5本	新規指定保護地区 1 地区 新規指定保護樹木 5本	新規指定保護地区 1 地区 新規指定保護樹木 5本
実績	保護地区 新規指定箇所数 〇地区 〇㎡ 解除箇所数 〇地区 〇㎡ 保護地区総数 27地区 90,548,96㎡ 保護樹木 新規指定本数 〇本 解除本数 4本 保護樹木総数 91本	保護地区 新規指定箇所数 〇地区〇㎡ 解除箇所数 1地区内 149㎡ 保護地区総数 27地区 90,399,96㎡ 保護樹木 新規指定本数 〇本 解除本数 〇本 保護樹木総数 91本	
実績に対する評価	減少傾向が見られる。保護地区 については、所有者が必ずしも 適切に管理できていないことが	ては、保護地区面積は減少した	
今後の取組や 見直し事項		保護地区や保護樹木の制度を周 知し、新規指定に努める。	

<用語解説> 特別緑地保全地区:都市緑地法に基づいて、都市の無秩序な拡大の防止に資する緑地、都市の歴史的・ 文化的価値を有する緑地、地域の景観に優れている又は動植物の生息地、生育地となるような緑地など を対象として、都市における緑地の保全を図ることを目的として定める地区のこと。

> 保護地区:樹木が集団で生育している土地で、その面積が300㎡以上であるか、または樹木のある神 社・寺院の境内であること。

> 保護樹木: 高さが10m以上で、地上1.2mの高さにおける幹の周囲がおおむね1.0m以上である もの。または、樹形が特に優れているものを指定の基準としている。

重点的施策: 市内に残る貴重な緑の保全

施策概要: 樹林地の無秩序な市街化を防止するため、市内に現存する貴重な緑地の公有地化や借地

化を検討する。

ms フロ スプログラス (旧都市計画理)

所管課义は関係課: クケーク ム型 int (10 fb) には int には int に に に に に に に に に に に に に に に に に に に			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	樹林地の公有地化・借地化の検討	樹林地の公有地化・借地化の検討	樹林地の公有地化・借地化の検討
実績	樹林地の公有地化・借地化を検討したが、用地の確保はできなかった。	281㎡の山林の寄附を受入 れ、樹木地の確保を行った。	
実績に対する 評価	公有地化・借地化による緑地の 保全ができなかった。	公有地化による緑地の保全ができた。	
今後の取組 や見直し事項	市内に残る貴重な緑地は、公有 地化や借地化を検討し、保全に 努める。		

重点的施策: 市内に残る貴重な緑の保全

施策概要: 農地や樹林地、水辺などの自然環境が本来持つ環境保全機能の向上や自然環境に配慮し

た適正な土地利用を行うために、市民との協働を図り推進する。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)·各課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	環境基本計画の望ましい環境像 実現のため連携	環境基本計画の望ましい環境像 実現のため連携	環境基本計画の望ましい環境像 実現のため連携
実績	郷戸特別緑地保全地区・根岸台 里山再生林の環境保全活動 年10回 延べ115名 宮戸斜面林環境保全活動 年8回 延べ84名 岡斜面林環境保全活動 年11回 延べ104名	郷戸特別緑地保全地区・根岸台 里山再生林の環境保全活動 年10回 延べ131名 宮戸斜面林環境保全活動 年10回 延べ112名 岡斜面林環境保全活動 年10回 延べ148名	
実績に対する評価	天候不良等の影響により昨年度 より活動回数は少なかった。	コロナウイルス感染拡大の中、 参加者に感染者を出すことなく 活動ができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も市民が環境保全活動をできるよう、ボランティア団体との連携を強化していく。また、活動支援として、補助金等の情報提供も行っていく。	今後も市民が環境保全活動をできるよう、ボランティア団体との連携を強化していく。また、活動支援として、補助金等の情報提供も行っていく。	

重点的施策: 市内に残る貴重な緑の保全

施策概要: 良好な景観形成に向けたまちづくりを推進するため、景観計画及び景観条例を制定し、

景観行政団体へ移行する。

所管課又は関係課: まちづくり推進課(旧都市計画課)

所管課又は関係課:	まり ノくり 推進議 (旧部中計	<u> </u>	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	景観計画の推進 景観審議会の運営	景観計画の推進 景観審議会の運営	景観計画の推進 景観審議会の運営
実績	景観計画の届出等 300件 景観審議会を3回開催	景観計画の届出等 188件 景観審議会を1回開催	
実績に対する評価	づくり団体の認定が進められた。 地域の特性を活かした良好な景観づくりを進めるため、景観計画の一部を変更し、景観づくり重点地区(シンボルロード周辺	景観計画の届出制度の運用により、良好な景観の誘導が図られた。 景観審議会の開催により、景観づくり団体の認定が進められた。 景観形成補助金(民都機構からの拠出金を活用)を交付し、島の上公園に展望テラスを設置した。 景観づくり重点地区(黒目川沿川エリア)の指定に向けて素案を作成した。	
今後の取組 や見直し事項	景観イベント等を行う。また、 景観計画の適正な運営のため、 引き続き景観審議会による評	景観計画の周知・推進を図るため、ホームページによる周知や 景観イベント等を行う。また、 景観計画の適正な運営のため、 引き続き景観審議会による評価・審議を行う。	

<用語解説> 景観計画(朝霞市景観計画):朝霞の自然や歴史文化、人々の営みを伝える大切な風土や風景を守るとともに、よりよい景観をつくり、地域の財産を育んでいくことで、住みたい、訪れたいと感じるまちづくりを進めるための計画のこと。

重点的施策: 住宅地・民間施設の緑化推進

施策概要: 住宅地を対象とした生け垣等設置奨励補助金制度を実施する。

所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	生け垣設置 10件	生け垣等設置 10件	生け垣設置 10件
実績		生け垣設置 2件 10. 1m ブロック塀撤去 1件 3. 1m 緑化フェンス設置 0件 既存フェンス緑化 0件	
実績に対する評価	要綱改正により新たに追加した 既存フェンスの緑化に対して補 助ができた。	目標には届かなかったが、昨年度に比べ、件数が増加した	
今後の取組 や見直し事項		補助制度の周知に努め、民有地緑化の推進を図る。	

重点的施策: 【廃止】住宅地・民間施設の緑化推進

施策概要: 明るく安らぎと潤いのある生活環境を目指し、多くの市民の目に触れられる道路等に面

した場所に草花の苗や種子、球根を植えて、花いっぱい運動を推進し、市民と協働によ

る花を活かしたまちづくりを推進する。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

※ 花いっぱい運動助成事業を平成27年度まで実施し、市民と協働による花を活かしたまちづくりを推進することができた。また、類似事業もあることから見直しを行い、平成27年度をもって廃止することとした。類似事業として、みどり公園課の生け垣設置奨励補助金制度(P.8参照)や道路整備課のボランティアによる道路美化活動を行う市民団体等に植栽する花の苗等の配布支援があげられる。(P.10

重点的施策: **住宅地・民間施設の緑化推進** 施策概要: 朝霞市開発事業等の手続及び基準等に関する条例による緑化の指導を行う。

研算型 CIP おおままで みどり 公園課 (旧都市計画課)

川日味人は肉が味・		/	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	緑化の推進	緑化の推進	緑化の推進
実績	準等に関する条例による緑化指	朝霞市開発事業等の手続及び基 準等に関する条例による緑化指 導を32件行った。	
実績に対する評価	準等に関する条例による緑化指	朝霞市開発事業等の手続及び基準等に関する条例による緑化指導で民有地等の緑化の創出につながった。	
今後の取組 や見直し事項		民有地等の緑化の推進のため、 引き続き緑化指導を行う。	

<用語解説> 開発行為:主として建築物の建築又は特定工作物の建設の用に供する目的で行う土地の区画形質の変更をいう。(都市計画法第4条第12項)

重点的施策: 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等)

施策概要: 現在実施している植木の剪定・ロータリー部分の花壇への季節の草花の植栽、正面玄関 周辺及び駐車場周辺に設置したプランターへの季節の草花の植栽、夏季における庁舎へ

の緑のカーテンの設置を継続して実施する。

所管課又は関係課: 財産管理課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	植木の剪定、ロータリー花壇・ プランターへの植栽、緑のカー テン設置等	植木の剪定、ロータリー花壇・ プランターへの植栽、緑のカー テン設置等	植木の剪定、ロータリー花壇・プランターへの植栽、緑のカーテン設置等
実績	プランターへの植栽 1回	植木の剪定 2回 プランターへの植栽 1回 緑のカーテン設置117㎡ 屋上緑化 216㎡	
実績に対する 評価	ンには朝顔等を植え、例年と同	花壇等へは草花を、緑のカーテンには朝顔等を植え、例年と同様に緑化を実行した。	
今後の取組 や見直し事項	今後も緑化を継続する。	今後も緑化を継続する。	

<用語解説>屋上緑化:建築物の屋上部分において、恒常的に、樹木、多年草等を有効に植栽するもの で、これらの生育に必要な土などの植栽基盤があるものをいう。

重点的施策: 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等)

施策概要: 各保育園の屋上緑化や緑のカーテンを推進する。 (浜崎・東朝霞・溝沼・本町・根岸

台・北朝霞・栄町・泉水・さくら・宮戸・仲町保育園)

所管課又は関係課:保育課(旧子育て支援課)

川官謀又は関係謀・	休日味 (旧) 月 (又)及味/	今和0 年度	【目標年次】
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標	屋上緑化や壁面緑化等を推進する。	屋上緑化や壁面緑化等を推進する。	屋上緑化や壁面緑化等を推進する。
実績	公立保育園 1 1 園で緑のカーテンを設置 1 1 園で緑のカーテー が が が が が が が が が が が が が が が が が が	公立保育園6園で緑のカーテンを設置 浜崎保育園 1.00㎡ 東朝霞保育園 6.00㎡ 東朝霞保育園 4.64㎡ 奈田保育園 6.00㎡ 泉水保育園 1.00㎡ 泉水保育園 1.00㎡ 京水保育園 1.00㎡ 京水保育園 1.00㎡ 京水保育園 1.00㎡ ※新型コロナウイルスの影響による対応等で実施できない園があった。 公立保育園等屋上緑化 宮戸保育園 80.00㎡ 仲町保育園 120.00㎡ 溝沼複合施設 235.87㎡	
実績に対する 評価	屋上緑化や壁面緑化を推進することができた。	屋上緑化や壁面緑化を推進することができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も継続して取り組んでい く。	今後も継続して取り組んでいく。	

重点的施策: 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等)

施策概要: 市が管理する道路等において、市民と行政が協力して、快適で美しい道路環境づくりを推進する。また、道路愛護意識の向上を図るために、ボランティアで道路美化活動を行

う市民団体等に植栽する花の苗等の配布支援を行っている。

所管課又は関係課: 道路整備課(旧道路交通課)

יומות ביויסוד לוויסוד			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	市管理道路において、ボラン ティアによる維持管理を促進す る。	市管理道路において、ボラン ティアによる維持管理を促進す る。	市管理道路において、ボラン ティアによる維持管理を促進す る。
実績	登録団体 22団体 活動実績 22件	登録団体 25団体 活動実績 25件	
実績に対する 評価	登録団体に継続して支援することができた。	登録団体に継続して支援することができた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、登録団体を支援す る。	引き続き、登録団体を支援する。	

重点的施策: 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等)

施策概要: 学校に設置した屋上緑化・壁面緑化等の維持管理を行う。(第四・五・七・八小学校、第一中

学校)

所管課又は関係課: 教育総務課

州自林人((内))	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	屋上緑化や壁面緑化等を推進する。	屋上緑化や壁面緑化等を推進する。	屋上緑化や壁面緑化等を推進する。
実績	 ・屋上緑化 四小 1, 232.55㎡ 五小 485.80㎡ 七小 100.00㎡ 一中 544.52㎡ ・壁面緑化 四小 506.28㎡ 五小 386.48㎡ 八小 109.00㎡ 	 ・屋上緑化 四小 1, 232.55㎡ 五小 485.80㎡ 七小 100.00㎡ 一中 544.52㎡ ・壁面緑化 四小 506.28㎡ 五小 386.48㎡ 八小 109.00㎡ 	
実績に対する 評価	設置されている学校については 適正に維持管理された。	設置されている学校については 適正に維持管理された。	
今後の取組 や見直し事項	緑化の検討を行う。また、緑のカーテンは学習の一環など各学校が緑化推進に努めて実施しており、今後も継続して実施する		

重点的施策: 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等) 施策概要: 公共施設の屋上緑化や壁面緑化等を推進する。

所管課又は関係課: 施設所管課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	屋上緑化や壁面緑化等を推進する。	屋上緑化や壁面緑化等を推進する。	屋上緑化や壁面緑化等を推進する。

産業振興課

実績	産業文化センター 屋上緑化 25.0㎡	産業文化センター 屋上緑化 25.0㎡	
実績に対する 評価	上緑化を推進することができ	昨年と同様に緑化を実施し、屋 上緑化を推進することができ た。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き屋上緑化を維持してい く。	引き続き屋上緑化を維持していく。	

地域づくりま	を 接課 になる こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ		
実績	膝折市民センター	藤折モセンター	
実績に対する 評価	集合施設において地上部分め居	集会施設において地上部分や屋	
今後の取組 や見直し事項	今後も引き続き緑化を推進していく。	今後も引き続き緑化を推進していく。	
内間木支所			
実績	内間木支所 壁面緑化 12.0㎡	内間木支所 壁面緑化 12.0㎡	
実績に対する 評価	昨年と同様に緑化を実施し、壁 面緑化を推進することができ た。	昨年と同様に緑化を実施し、壁 面緑化を推進することができ た。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き壁面緑化を維持していく。	引き続き壁面緑化を維持していく。	
こども未来説	果		
実績	きたはら児童館 壁面緑化 3.78㎡	きたはら児童館 壁面緑化 3.78㎡	
実績に対する 評価	緑化を推進することができた。	緑化を推進することができた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き緑化に努めていく。	引き続き緑化に努めていく。	
※ひざおり・れ 健康づくり誤		童館は複合施設のため、市民センタ	7ー他で計上している。
実績	壁面緑化 16.0㎡	壁面緑化 16.0㎡	
実績に対する 評価	緑化を推進することができた。	緑化を推進することができた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き緑化に努めていく。	引き続き緑化に努めていく。	
まちづくり推	·		
実績	朝霞駅南口原動機付自転車駐車場 場 屋上緑化 111.0㎡	朝霞駅南口原動機付自転車駐車 場 屋上緑化 111.0㎡	
実績に対する 評価	屋上緑化を適正に維持管理できた。		
今後の取組 や見直し事項	見上婦ルち継続する	屋上緑化を継続する。	
学校給食課			
実績	溝沼学校給食センター 屋上緑化 95.9㎡	満沼学校給食センター 屋上緑化 95.9㎡	
実績に対する	屋上緑化を維持することができた	屋上緑化を維持することができ	

出入口が食事室の窓からのため、衛生管理が難しいので見直 しを行う。

評価

今後の取組 や見直し事項 く。 生涯学習・スポーツ課(旧スポーツ課)

<u> 上性ナロ /</u>	エ圧チ白・スパーノ味(ロスパーノ味)			
実績	総合体育館 壁面緑化 250.0㎡ 武道館 壁面緑化 30.0㎡ 駐車場にプランターを設置した。また正面入口の花壇にひまわりの植栽を行った。	総合体育館 改修工事のため令和2年度は 未実施 武道館 壁面緑化 30.0㎡ 駐輪場前にプランターを設置し た。		
実績に対する 評価	視覚的に涼しさを感じることが できると、利用者から大変好評 だった。			
今後の取組 や見直し事項	夏季における壁面緑化だけでなく、次年度も継続、発展していけるよう検討していく。	夏季における壁面緑化だけでな く、次年度も継続、発展していけ るよう検討していく。		

中央公民館

中大乙六品			
	中央公民館	中央公民館	
	屋上緑化(庭園) 65. 0㎡	屋上緑化(庭園) 65. 0㎡	
	壁面緑化 153.6㎡	壁面緑化 153.6㎡	
	東朝霞公民館	東朝霞公民館	
	壁面緑化 80.0㎡	壁面緑化 80.0㎡	
	西朝霞公民館	西朝霞公民館	
実績	壁面緑化 59.4㎡	壁面緑化 59.4㎡	
	南朝霞公民館	南朝霞公民館	
	壁面緑化 12.9㎡	壁面緑化 40.3㎡	
	北朝霞公民館	北朝霞公民館	
	壁面緑化 23.0㎡	壁面緑化 10.2㎡	
	内間木公民館	内間木公民館	
	壁面緑化 46.6㎡	壁面緑化 46.6㎡	
	気温の低減効果と共に公民館で	気温の低減効果と共に公民館で	
中継に並する	緑化に取り組むことにより、公	緑化に取り組むことにより、公	
実績に対する評価	民館利用者に地球温暖化や緑化	民館利用者に地球温暖化や緑化	
<u>5</u> ₩1Ш	に対する意識向上を図ることが	に対する意識向上を図ることが	
	できた。	できた。	
	気温の低減効果や利用者に対す	気温の低減効果や利用者に対す	
今後の取組	る地球温暖化や緑化に対する意	る地球温暖化や緑化に対する意	
や見直し事項	識向上拡大のため緑化を継続し	識向上拡大のため緑化を継続し	
	ていく。	ていく。	

重点的施策: 【廃止】拠点公園の整備、身近な公園整備

施策概要: 公園整備計画を推進する。

所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)

※ 第5次朝霞市総合振興計画や朝霞市みどりの基本計画の中に、公園整備に関する施策の方針の

展開の位置づけを行った。

重点的施策: 拠点公園の整備、身近な公園整備

施策概要: 公園整備を推進する。

所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)

所管課又は関係課:	<u> みとり公園課(旧都中計画課</u>)	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	公園不足地区を解消するため、 街区公園等の公園を整備する。	公園不足地区を解消するため、 街区公園等の公園を整備する。	公園不足地区を解消するため、 街区公園等の公園を整備する。
実績	都市公園の整備実績なし。	都市公園の整備実績あり。	
実績に対する 評価	公園が偏在している状況を改善 することができなかった。	公園が偏在している状況を改善 することができた。	
今後の取組 や見直し事項	借地化、公有地化の検討を含	樹林地、生産緑地、遊休地等の借地化、公有地化の検討を含め、引き続き公園用地の確保に努める。	

重点的施策: キャンプ朝霞跡地の緑の有効活用

施策概要: 基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画による整備を行う。

所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)

別官誌又は関係誌・		/	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	既存樹木を活用した緑の空間の 整備	既存樹木を活用した緑の空間の 整備	既存樹木を活用した公園整備
実績	シンボルロード第1期整備区間 の整備が完了し、供用開始し た。	シンボルロード整備が完了し、 供用開始した。	
実績に対する評価	整備エリアに南側緑道を追加したほか、既存樹木の取扱い等について現地で市民と確認を行ったうえで工事を完了することができた。	地で市民と確認を行ったうえで	
今後の取組 や見直し事項	供用開始後の樹木の維持管理方 針の策定等に取り組む。	樹木の維持管理等に取り組む。	

重点的施策: 農地の保全と活用

施策概要: 生産緑地地区指定による市街化区域農地の保全を行う。

所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)

		/	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	生産緑地地区の追加指定	生産緑地地区の追加指定	生産緑地地区の追加指定
実績	追加指定面積 0.65ha(7件) 総面積 66.04ha	追加指定面積 0.66ha(6件) 総面積 65.33ha	
実績に対する 評価	生産緑地地区の追加指定により、指定面積が増加となった。	生産緑地地区の追加指定によ り、指定面積が増加となった。	
今後の取組 や見直し事項	生産緑地地区の追加指定により、市街化区域農地の保全に努める。	生産緑地地区の追加指定により、市街化区域農地の保全に努める。	

<用語解説> 生産緑地:市街化区域内において、公害の防止又は災害の防止、農林業と調和した都市環境の保全等に役立つ農地等を保全し、良好な都市環境の形成を図るために、生産緑地法により指定された農地のこと。

重点的施策: 農地の保全と活用

施策概要: 農家を対象に景観作物の種子を配布することで、農地の保全や有効活用を図る。

所管課又は関係課: 農業委員会

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	景観作物種子配布	景観作物種子配布	景観作物種子配布
実績	景観作物種子配布 配布戸数 12戸 面積 13,912㎡	景観作物種子配布 配布戸数 11戸 面積 21,878㎡	
実績に対する 評価	景観作物種子を作付けしていた だくことにより、農地の保全や 有効活用が図られた。	景観作物種子を作付けしていた だくことにより、農地の保全や 有効活用が図られた。	
今後の取組 や見直し事項	景観作物種子を作付けすることは遊休農地対策や周辺住環境対策として効果的なので、今後も多くの農業者に利用してもらえるようにPRをしていく。	景観作物種子を作付けすること は遊休農地対策や周辺住環境対 策として効果的なので、今後も 多くの農業者に利用してもらえ るように引き続きPRをしてい く。	

<用語解説>景観作物:連作障害の回避、地力の増進、輪作体系の確立並びに土ぼこり対策及び遊休農地の解消のために作付けする作物。コスモスやクロタラリア(ネマキング)等が用いられる。

重点的施策: 農地の保全と活用

施策概要: 市内の農家にご協力いただき市民に田植え、稲刈りの農作業体験やじゃがいも、さつまいも、にんじんの収穫体験を実施する。(各1回/年)また、市民農園を整備し、農作物の栽培を希望する市民に農作物の栽培の場を提供する。

所管課又は関係課: 産業振興課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	農業体験 実施回数 5回 参加人数 1,080人 市民農園 開設数 7農園 貸出区画数 515区画	農業体験 実施回数 5回 参加人数 1,080人 市民農園 開設数 7農園 貸出区画数 515区画	農業体験 実施回数 5回 参加人数 1,500人 市民農園 開設数 7農園 貸出区画数 515区画
実績	農業体験 実施回数 5回 参加人数 1,531人 市民農園 開設数 7農園 貸出区画数 502区画	農業体験 実施なし 市民農園 開設数 7農園 貸出区画数 515区画	
実績に対する評価		新型コロナ感染拡大防止対策等 により、すべての農業体験を実 施することができなかった。	
今後の取組 や見直し事項	農業に親しむ環境を作り、農業に対する理解を促すため、引き続き農業体験事業を行う。 農業者等が開設する市民農園を推奨し、市民農園の開設数を増かしていく。	現行事業の実施	

協働事業:1-②水辺づくり(水辺の保全と創出)

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.88参照

重点的施策: 水環境の保全(水質の監視)

施策概要: 河川(新河岸川・黒目川・越戸川)の水質調査(生活環境項目・健康項目・要監視項目等)、関係

機関との連携を図った水質保全、事業所からの排出についての監視・指導を実施する。

所管課又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課)

※ P. 5 「環境指標:生活環境の保全に関する環境基準値の達成(BOD値)黒目川」参照

重点的施策: 水環境の保全(水質の監視)

施策概要: 公共下水道未接続世帯の調査を通じて積極的な啓発活動等を行い、私道整備補助金等を活

用していただいて公共下水道への接続を指導していく。また、未整備地区については継続し

て整備を行っていく。

所管課又は関係課: 下水道施設課(旧下水道課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	普及率 97.9%	普及率 97.9%	普及率 97.9%
実績	普及率 97.7%	普及率 97.8%	
	浦と進めてるたか、日际には油	旧暫定逆線引き地区の下水道整備を進めてきたが、目標には届かなかった。	
	引き続き旧暫定逆線引き地区の 整備を進める。	引き続き旧暫定逆線引き地区の 整備を進める。	

重点的施策: 水環境の保全(水質の監視)

施策概要: 地下水水質調査を市内の井戸において実施する。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	環境基準の達成	環境基準の達成	環境基準の達成
実績	調査数 1 3地点 環境基準適合率 トリクロロチルソ 1 0 0 %(13/13地点) テトラクロロチルソ 9 2. 3%(12/13地点) 1,1,1-トリクロロタソ 1 0 0 %(13/13地点)	調査数13地点 環境基準適合率 トリクロエチン 100%(13/13地点) テトラクロエチン 92.3%(12/13地点) 1,1,1-トリクロエチン 100%(13/13地点)	
実績に対する 評価	1地点でテトラクロロエチレンが環境基準に適合することができなかった。	1地点でテトラクロロエチレンが環境基準に適合することができなかった。	
今後の取組 や見直し事項		環境基準に適合していなかった 地点においては毎年調査を行 い、その値の変化を注視してい く。	

<用語解説> トリクロロエチレン(環境基準値: O.O1mg/I以下): 無色でクロロホルムのような臭気があり、不燃性で、水に溶けにくい液体。金属部品の脱脂洗浄や塗料のシンナー等に用いられる。

テトラクロロエチレン(環境基準値: O.O1mg/I以下): 無色でエーテルのような臭気があり、不燃性で、水に溶けにくい液体。主にドライクリーニングや金属部品の脱脂洗浄等に用いられる。

1,1,1-トリクロロエタン(環境基準値:1mg/l以下):無色透明の液体で、甘い臭気がある。不燃性で、水に溶けにくく、大気中では比較的安定で、広域に拡散し、オゾン層破壊の原因物質の一つといわれている。金属の常温洗浄、ドライクリーニング溶剤等に使用されている。

重点的施策: 水環境の保全(水質の監視)

施策概要: 合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理について「広報あさか」等による啓発を実施す

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	単独処理浄化槽から合併処理浄 化槽への転換及び適正な維持管 理の促進	単独処理浄化槽から合併処理浄 化槽への転換及び適正な維持管 理の促進	単独処理浄化槽から合併処理浄 化槽への転換及び適正な維持管 理の促進
実績	合併処理浄化槽の設置及び適正 な維持管理の促進 届出処理件数3件 ・広報あさか11月号に掲載 ・市ホームページ掲載 ・一括契約制度の推奨 ・法定検査結果が不適正であっ た浄化槽管理者への通知	合併処理浄化槽の設置及び適正 な維持管理の促進 届出処理件数5件 ・広報あさか8・2月号に掲載 ・市ホームページ掲載 ・一括契約制度の推奨 ・法定検査結果が不適正であっ た浄化槽管理者への通知	
実績に対する評価	た。また、法定検査結果が不適	広報やホームページへ掲載した。また、法定検査結果が不適正であった浄化槽管理者へ対して通知により実施した。	
今後の取組 や見直し事項	単独処理浄化槽からの転換及び 浄化槽の適正管理に向け、引き 続き周知啓発を実施する。	単独処理浄化槽からの転換及び 浄化槽の適正管理に向け、引き 続き周知啓発を実施する。	

<用語解説> 合併処理浄化槽: し尿のほか台所、風呂、洗濯など生活排水を併せて処理する施設のこと。し尿だけを処理する単独浄化槽と比べて、放流水の水質を向上させることができる。

重点的施策: **良好な水辺の保全(桜並木や遊歩道、わくわく田島緑地の維持管理)**

施策概要: 黒目川桜並木と遊歩道を適切に管理することで桜の季節には提灯、灯篭、仮設トイレを

設置し市民が黒目川に親しむこのとできる快適な環境づくりの推進を図る。

所管課又は関係課: 道路整備課(旧道路交通課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	定期除草の実施及び桜の開花時期にあわせ提灯、灯篭、仮設トイレを設置する。	定期除草の実施及び桜の開花時期にあわせ提灯、灯篭、仮設トイレを設置する。	定期除草の実施及び桜の開花時期にあわせ提灯、灯篭、仮設トイレを設置する。
実績		定期除草の実施及び桜の開花時期にあわせて提灯、灯篭を設置 した。	
実績に対する評価	期にあわせて提灯、灯篭を設置し、市民が黒目川に親しみなが	定期除草の実施及び桜の開花時期にあわせて提灯、灯篭を設置し、市民が黒目川に親しみながら、快適な環境を創ることができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も、定期除草の実施や桜の 開花時期にあわせて提灯、灯篭 を設置する。	今後も、定期除草の実施や桜の 開花時期にあわせて提灯、灯篭 を設置する。	

協働事業:1-③自然の保全と再生

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.88参照

重点的施策: 雑木林の維持・管理

施策概要: 特別緑地保全地区指定による樹林地の保全、保護地区・保護樹木指定による緑の保全、

段丘崖斜面の斜面林の保全を行う。

所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)

※ P. 6「重点的施策:市内に残る貴重な緑の保全」参照

重点的施策: 雑木林の維持・管理

施策概要: 緑地管理ボランティアによる里山の再生及び保全活動を行う。 所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)・環境推進課(旧環境保全課)

171 - 011 - 110 111101		,,,,,,,	1-2
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	里山の再生・保全	里山の再生・保全	里山の再生・保全

みどり公園課(旧都市計画課)

実績	根岸台8丁目緑地 活動内容:下草刈り、清掃、緑	管理ボランティア団体:1団体活動場所:宮戸緑地、岡緑地、根岸台8丁目緑地活動内容:下草刈り、清掃、緑化推進イベント等	
実績に対する評価	ボランティア団体により緑地の 管理、里山の再生・保全などが 行われた。	ボランティア団体により緑地の 管理、里山の再生・保全などが 行われた。	
今後の取組 や見直し事項	里山の再生・保全など市民による管理に努める。	里山の再生・保全など市民による管理に努める。	

環境推進課(旧環境保全課)

※ P. 7「重点的施策:市内に残る貴重な緑の保全」参照

重点的施策: 【廃止】公園等の緑の適切な維持・管理

施策概要: 公園整備計画を推進する。 所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)

※ P. 12「重点的施策:拠点公園の整備、身近な公園整備」参照

重点的施策: **公園等の緑の適切な維持・管理** 施策概要: 公園等の緑を適切に維持・管理する。

所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	街区公園・児童遊園地等の適切 な管理	街区公園・児童遊園地等の適切 な管理	街区公園・児童遊園地等の適切 な管理
実績	樹木剪定、芝生管理、除草、落葉 清掃等の維持管理を定期的に 行った。 地区公園:1箇所 近隣公園:2箇所 街区公園:30箇所 緑地:2箇所 児童遊園地:81箇所	樹木剪定、芝生管理、除草、落葉 清掃等の維持管理を定期的に 行った。 地区公園:1箇所 近隣公園:2箇所 街区公園:32箇所 緑地:2箇所 児童遊園地:81箇所	
実績に対する 評価	委託業務の中で、園内の緑の適 切な維持管理が行われた。	委託業務の中で、園内の緑の適 切な維持管理が行われた。	
今後の取組 や見直し事項		引き続き、適切な維持管理に努めるとともに公園管理ボランティアによる維持管理を広げていく。	

重点的施策: 湧水の保全(清流の確保、健全な水循環)

施策概要: 市指定文化財「広沢の池」「湧水代官水」の水質検査や除草・清掃等を行い、保存・管

理する。

所管課又は関係課: 文化財課

ガロ味入は肉が味・	入したい		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	保存•管理	保存•管理	保存•管理
実績	保存・管理の実施 ・水質検査 広沢の池 1回 湧水代官水 2回 ・除草・清掃 通年	保存・管理の実施 ・水質検査 広沢の池 1回 湧水代官水 2回 ・除草・清掃 通年	
実績に対する評価	水質検査を行い水質の管理をす ることで、市内に残る貴重な湧	除草・清掃を実施すると共に、 水質検査を行い水質の管理をす ることで、市内に残る貴重な湧 水を保存することができた。	
今後の取組 や見直し事項		市指定文化財の保存のため、継 続して管理運営を実施する。	

重点的施策: 湧水の保全(清流の確保、健全な水循環)

施策概要: 博物館・裏山からの湧水を、館内の池で有効活用する。

所管課又は関係課: 文化財課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	活用	活用	活用
実績	裏山からの湧水を、館内の池に流している。	裏山からの湧水を、館内の池に流している。	
実績に対する評価	利用することで有効活用されて	自然の湧水は貴重とされ、池で 利用することで有効活用されて いる。	
今後の取組 や見直し事項	し、自然景観を残すために、継	敷地内の貴重な湧水を活用しながら、自然景観を残すために、 継続して管理運営を実施する。	

重点的施策: 湧水の保全(清流の確保、健全な水循環)

施策概要: 湧水の調査を実施する。また、公園や緑地の中で湧水を保全し、除草・清掃作業を通年

で行う。

所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)・環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	調査・保全	調査・保全	調査・保全

みどり公園課(旧都市計画課)

実績	湧水の調査は実施していない。 岡特別緑地保全地区内の湧水を 保全するために、緑地の適正な 維持管理を実施した。		
	湧水の調査は実施していない が、湧水の保全に努めた。	湧水の調査は実施していない が、湧水の保全に努めた。	
今後の取組 や見直し事項	公園や緑地内にある湧水を保全 するため、引き続き適正な維持 管理に努める。	公園や緑地内にある湧水を保全 するため、引き続き適正な維持 管理に努める。	

環境推進課 (旧環境保全課)

実績	・調査数 1地点(わくわく田島緑地) ・3項目(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、	湧水の水質調査結果 ・調査数 1地点(滝の根公園) ・3項目(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン)について調査し、すべて環境基準に適合していた。	
実績に対する 評価		環境基準に適合していたことから、良好な水質状況であることが確認できた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き湧水の水質の監視を行う。	引き続き湧水の水質の監視を行う。	

重点的施策: 自然を活かした水辺づくり

施策概要: 河川管理者と水辺空間についての協議に努める。

所管課又は関係課: 道路整備課(旧道路交通課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	河川管理者と水辺空間活用につ いての協議	河川管理者と水辺空間活用につ いての協議	河川管理者と水辺空間活用につ いての協議
実績	河川管理者と水辺空間活用につ いて協議を実施した。	河川管理者と水辺空間活用について協議を実施した。	
実績に対する 評価	今後の黒目川の維持管理等の方 法について協議を実施した。	今後の黒目川の維持管理等の方法について協議を実施した。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き河川管理者と水辺空間 活用についての協議を実施す る。	引き続き河川管理者と水辺空間 活用についてベンチの設置、更 新等含めた協議を実施する。	

重点的施策: 雨水の浸透対策の推進

施策概要: 朝霞市開発事業等の手続及び基準等に関する条例に基づき、開発区域の面積が500㎡

以上の場合は浸透トレンチや雨水貯留施設を設置するよう指導、また、500㎡未満の

場合は、雨水浸透ますの設置について要請を継続する。

所管課又は関係課: 下水道施設課(旧下水道課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	朝霞市開発事業等の手続及び基準等に関する条例に基づく指導により浸透トレンチ、雨水貯留施設並びに雨水浸透ますの設置の促進	朝霞市開発事業等の手続及び基準等に関する条例に基づく指導により浸透トレンチ、雨水貯留施設並びに雨水浸透ますの設置の促進	朝霞市開発事業等の手続及び基準等に関する条例に基づく指導により浸透トレンチ、雨水貯留施設並びに雨水浸透ますの設置の促進
実績		浸透トレンチや雨水貯留施設、 雨水浸透ますの設置を指導し た。	
実績に対する評価	それぞれ対象面積に応じて指導 し、適切に雨水流出抑制施設が 設置された。	それぞれ対象面積に応じて指導 し、適切に雨水流出抑制施設が 設置された。	
今後の取組 や見直し事項	今後においても適切に指導し、 降雨災害の軽減に寄与してい く。	今後においても適切に指導し、 降雨災害の軽減に寄与してい く。	

〈用語解説〉 浸透トレンチ・雨水浸透ます:建物の屋根に降った雨水を集めて地中に浸透させるため、地面の下に設置される浸透施設。雨水浸透ますは主に底面から雨水を浸透させるが、浸透トレンチは側面からも浸透させることができ、一般的に浸透ますよりも規模が大きい。

雨水貯留施設:雨水を一時的に貯めたり、河川への雨水流出量を抑制する施設で、公園や駐車場などの地表面に貯留するタイプと、建物の地下に貯留するタイプがある。貯留した雨水を散水等に利用することもできる。

協働事業:1-④身近な生きものとのふれあい

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.88参照

重点的施策: 自然環境の保全

施策概要: 市内の生活環境の保全及び不法投棄物の早期発見のため、職員による監視パトロールや

不法投棄未然防止パトロールを実施する。

所管課又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課)

ガロ味入る場が味・			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標			職員による監視パトロールや委 託による夜間監視パトロール
実績	委託による夜間監視パトロール 年24回実施	委託による夜間監視パトロール 年24回実施	
実績に対する評価	実施することができた。また、 日中は職員によるパトロールも	計画通り夜間監視パトロールを 実施することができた。また、 日中は職員によるパトロールも 適宜実施することができた。	
今後の取組 や見直し事項	と情報共有しながら、パトロールを強化し、不法投棄の防止、	引き続き、国・県等の関係機関 と情報共有しながら、パトロー ルを強化し、不法投棄の防止、 早期発見・回収をする。	

重点的施策: 市民・市民団体との連携による自然観察会、水生生物調査等

施策概要: 市民団体等の活動に対する情報の提供、団体自ら行う自然環境調査等への支援を行う。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	市民団体等の活動に対する情報 提供及び活動の支援	市民団体等の活動に対する情報 提供及び活動の支援	市民団体等の活動に対する情報 提供及び活動の支援
実績	会報「かんきょう」の発行 市広報への参加者募集記事掲載 (5回)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	
実績に対する評価	広報等を通じて市民団体の活動 に対する情報提供及び活動の支 援をすることができた。	コロナウイルス感染拡大防止の ため外部への情報提供は行わな かった。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、市民団体等に対し、 活動に対する情報提供及び活動 の支援をしていく。	コロナ禍に対応した、活動に対 する情報提供及び活動の支援を していく。	

重点的施策: 土とふれあえる環境の整備(市民農園等の充実)

施策概要: 市民農園を整備し、農作物の栽培を希望する市民に農作物の栽培の場を提供する。

所管課又は関係課: **産業振興**課

別目訴人は関示訴・	<u> </u>		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	市民農園 開設数 7農園 区画数 515区画	市民農園 開設数 7農園 区画数 515区画	市民農園 開設数 7農園 区画数 515区画
実績	市民農園 開設数 7農園 区画数 511区画	市民農園 開設数 7農園 区画数 515区画	
実績に対する評価	市民農園の開設数は減少した が、空き区画がある市民農園を 利用希望者に利用してもらえる よう努めた。	利用率100%	
今後の取組 や見直し事項	農業者等が開設する市民農園を 推奨していく。	引き続き、農業者等が開設する 市民農園を推奨していく。	

重点的施策: 生物多様性に関する情報の発信

施策概要: 生物多様性に関する情報収集と発信を行い、都市の生物多様性指標を検討し活用してい

く。また、エコロジカルネットワークを検討し形成していく。

所管課又は関係課: みどり公園課(旧都市計画課) • 環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標		都市の生物多様性指標の活用、 エコロジカルネットワークの形成	都市の生物多様性指標の活用、 エコロジカルネットワークの形成

みどり公園課(旧都市計画課)

実績	市内で活動している環境関係団体と意見交換などを行う生物多様性市民懇談会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催しなかった。	体と意見交換などを行う生物多様性市民懇談会は、新型コロナ		
実績に対する評価	止になったため、意見交換の場	生物多様性市民懇談会が開催中止になったため、意見交換の場を設けることができなかった。		
今後の取組 や見直し事項	し、市民団体との意見交換、活	生物多様性市民懇談会を開催し、市民団体との意見交換、活動支援を行っていく。		

理技术体部 (口理技/0个部)

<u> </u>	(旧琼児休王誅 <i>)</i>		
実績	市民団体の実施する環境保全活動などについて情報発信を行った。	市民団体の実施する環境保全活動などについてTwitter等を通じて、情報発信を行った。	
実績に対する評価	エコロジカルネットワークにつ いての理解を深めることができ た。	エコロジカルネットワークにつ いての理解を深めることができ た。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、市民団体の実施する 環境保全活動やイベント等の情 報発信を行う。	引き続き、市民団体の実施する 環境保全活動やイベント等の情 報発信を行う。	

<用語解説> 生物多様性(Biodiversity): あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊 かさやバランスが保たれている状態を指し、また、生物が過去から未来へと伝える遺伝子の多様さまで も含めた幅広い概念をいう。

> エコロジカルネットワーク(生態系ネットワーク):野生生物が生息・生育する様々な空間(森林、農地、都市内緑地・水辺、河川、海、湿地・湿原・干潟・藻場・サンゴ礁等)がつながる生 態系のネットワークのことをいう。

協働事業:1-⑤水の有効利用

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.88参照

重点的施策: 節水の啓発

施策概要: 節水のための啓発を推進する。 所管課又は関係課: 上下水道総務課(旧水道経営課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	水道使用量 1,550万㎡ 302 <i>l</i> /人日	水道使用量 1,573万㎡ 302 <i>l</i> /人日	水道使用量 1,504万㎡ 294 <i>l</i> /人日
実績	水道使用量 1,548万㎡ 298ℓ/人日	水道使用量 1,586万㎡ 303ℓ/人日	
実績に対する 評価	使用量は増加したが、一時的なものと考えている。	節水の啓発を行ったが、目標は達成できなかった。	
今後の取組 や見直し事項	今後も機会を捉え節水啓発する。	今後も機会を捉え節水啓発する。	

重点的施策: 雨水の利用

施策概要: 雨水貯留施設に蓄えられた雨水を再利用し、有効活用を図る。また、新たに施設をつく

るときには、雨水や再生水の利用をする。

所管課又は関係課: 各施設所管課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	· · · · · · · · · · - · · · - · · · -		有効利用する。施設新設時に は、雨水貯留施設を設置する。

地域づくり支援課

実績		根岸台・膝折市民センターにてトイレの洗浄に雨水を使用。	
	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も雨水を有効利用してい く。	今後も雨水を有効利用してい く。	

産業振興課

実績		産業文化センターの地下に雨水 利用施設があり、雨水を貯め、 トイレの洗浄に使用している。	
実績に対する 評価	年間を通し、雨水を有効利用す ることができた。	年間を通し、雨水を有効利用することができた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、雨水を有効利用していく。	引き続き、雨水を有効利用していく。	

資源リサイクル課

実績	用施設があり、トイレの洗浄・ 散水に使用した。	リサイクルプラザ地下に雨水利用施設があり、トイレの洗浄・散水に使用した。 使用した雨水の量:118㎡/年	
実績に対する 評価		年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	
		設備の点検管理を継続的に行い、雨水を有効に利用する。	

こども未来課(旧子育て支援課)

実績		溝沼複合施設にてトイレの洗浄 に雨水を使用した。	
実績に対する 評価	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も雨水を有効利用してい く。	今後も雨水を有効利用してい く。	

保育課(旧子育て支援課)

実績	溝沼·さくら·宮戸·仲町保育園 にてトイレの洗浄に雨水を使用 した。	溝沼·さくら·宮戸·仲町保育園 にてトイレの洗浄に雨水を使用 した。		
実績に対する 評価	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。		
今後の取組 や見直し事項	今後も雨水を有効利用してい く。	今後も雨水を有効利用してい く。		

まちづくり推進課(旧道路交通課)

実績	北朝霞駅東口・朝霞駅南口・朝霞駅東口地下自転車駐車場にてトイレの洗浄に雨水を使用した。	駅東口地下自転車駐車場にてト	
実績に対する 評価		年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	
今後の取組 や見直し事項		今後も雨水を有効利用してい く。	

みどり公園課(旧都市計画課)

実績		新高橋ふれあい広場トイレの洗 浄水に再生水を利用した。	
実績に対する 評価		年間を通して、再生水を有効利用することができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も再生水を有効利用する。	今後も再生水を有効利用する。	

<用語解説> 再生水:雨水以外の排出水を循環させるなどで再利用させているもの。(新高橋ふれあい広場トイレではトイレから排出された汚水を浄化処理したものを再生水として利用)

道路整備課(旧道路交通課)

実績		朝霞駅南口公衆トイレの洗浄水 に雨水を使用した。	
実績に対する 評価	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も雨水を有効利用し、施設 新設時には雨水貯留施設を設置 するよう努める。		

学校給食課

実績		溝沼学校給食センターにてトイ し洗浄及び屋外散水に雨水を利 用した。	
実績に対する 評価	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	年間を通して、雨水を有効に利 用することができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も雨水を有効利用してい く。	今後も雨水を有効利用してい く。	

教育総務課

実績	小の一部トイレと四・五・十小	は、トイレ洗浄水・校庭スプリンクラー用水として使用。(一	
実績に対する 評価	限られた水資源の有効利用を図	雨水、中水を利用することで、 限られた水資源の有効利用を図れ、節水効果が得られた。	
今後の取組 や見直し事項		施設整備等に併せ、雨水貯留施 設の整備を検討していく。	

重点的施策: 雨水の利用

施策概要: 博物館内で雨水を溜め、館内の池で活用する。

所管課又は関係課: 文化財課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	量に水を利用する場合、博物館	量に水を利用する場合、博物館	館内の池のメンテナンス等で大量に水を利用する場合、博物館内の雨水貯留施設に溜めた雨水を利用する。
実績	年2回の池清掃で雨水を利用している。	年2回の池清掃で雨水を利用している。	
実績に対する 評価		雨水を利用することにより、水道代を節約できる。	
今後の取組 や見直し事項		今後においても、雨水を有効利 用していく。	

<用語解説> 雨水貯留施設:雨水を一時的に貯めたり、河川への雨水流出量を抑制する施設で、公園や駐車場などの地表面に貯留するタイプと、建物の地下に貯留するタイプがある。貯留した雨水を散水等に利用することもできる。

重点的施策: 雨水の利用

施策概要: 雨水の再利用を促進し水資源の有効活用を図るため、市内住居に設置する雨水貯留槽の

設置費の一部を補助する。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	雨水貯留槽設置費補助件数 総件数 23件	雨水貯留槽設置費補助件数 総件数 32件	雨水貯留槽設置費補助件数 総件数 40件
実績	雨水貯留槽設置費補助件数 総件数 22件 (うちR1交付件数は2件)	雨水貯留槽設置費補助件数 総件数 25件 (うちR2交付件数は3件)	
実績に対する評価	で雨水貯留槽が設置され、雨水	補助制度を活用して3件の住居で雨水貯留槽が設置され、雨水の再利用を促進することができた。	
今後の取組 や見直し事項		引き続き、補助制度を実施し、 雨水の再利用を促進する。また、補助制度についても、更な る周知に努める。	

重点的取組2 低炭素の環(地球温暖化対策の推進、低炭素社会の形成)

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画 I P.90参照

【環境指標】を設定した事業

環境指標: **市のCO2排出量の削減率**

指標概要: 第3次朝霞市地球温暖化対策実行計画(平成27年度~令和3年度)の目標を達成す

る。

事業担当課: 環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	令和元年度目標 平成25年度比 1.0%削減	令和2年度目標 平成25年度比 1.0%削減	地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス排出量の削減を行う。
実績	CO2排出量 16,670,970kg-CO2 (平成25年度比1.71%削減)	CO2排出量 16,675,729kg-CO2 (平成25年度比1.68%削減)	
実績に対する評価	平成25年度より排出量を削減することができたが、7年間で計7%を削減するためにも、引き続き積極的な削減対策を努める。	平成25年度より排出量を削減することができたが、7年間で計7%を削減するためにも、引き続き積極的な削減対策を努める。	
最終目標値を 達成するため の改善点	節電意識の向上などソフト面での対策のほか、設備更新などのタイミングに合わせ、省エネ・ 創工ネ機器の設置などを推進する必要がある。	節電意識の向上などソフト面での対策のほか、設備更新などのタイミングに合わせ、省エネ・ 創工ネ機器の設置などを推進する必要がある。	

[※] 平成26年度に第2次朝霞市地球温暖化対策実行計画を見直し、第3次朝霞市地球温暖化対策実行計画(平成27年度~平成31年度)を策定。削減目標を「平成25年度を基準として、5年間で計5%(年平均1%)削減する。」と定めた。このため、中間目標値を第3次計画の目標値に変更した。

〈用語解説〉 低炭素社会:地球温暖化対策に向け、人間の諸活動によって排出される主要な温室効果ガスである 二酸化炭素(CO2)の排出量が少ない産業や生活のしくみを構築した社会のこと。

環境指標: 住宅用太陽光パネル設置補助延べ戸数

指標概要: 地球温暖化対策の一環として、環境への負荷の少ない住宅用太陽光発電システムの設置

費の一部を補助し、太陽光を利用したクリーンエネルギーの導入を促進する。

事業担当課: 環境推進課(旧環境保全課)

<u> </u>			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	住宅用太陽光発電外系 設置費補助申請総戸数 965戸	住宅用太陽光発電汎元 設置費補助申請総戸数 1,033戸	住宅用太陽光発電汎元 設置費補助申請総戸数 1,102戸
実績	住宅用太陽光発電汎元 設置費補助申請・交付件数 総戸数956戸 (うちR1交付戸数は26戸)	住宅用太陽光発電以元 設置費補助申請・交付件数 総戸数976戸 (うちR2交付戸数は20戸)	
実績に対する評価	補助制度が市民に活用され、クリーンエネルギーの導入の一助となっている。	補助制度が市民に活用され、ク リーンエネルギーの導入の一助 となっている。	
最終目標値を 達成するため の改善点	引き続き、補助制度を実施し、 クリーンエネルギーの導入を促 進する。	引き続き、補助制度を実施し、 クリーンエネルギーの導入を促 進する。	

環境指標: 市内循環バス利用者数 指標概要: 運行概要 路線数 4路線・運行距離34.2km バス停数70箇所・運行数平日92本、休日76本

事業担当課: まちづくり推進課(旧道路交通課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	市内循環バス利用者 407,000人	市内循環バス利用者 415,000人	市内循環バス利用者 422,000人
実績	市内循環バス利用者 415,286人	市内循環バス利用者 291,774人	
実績に対する評価	市内循環バスの利用者は、目標を達成できた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成できなかった。	
最終目標値を 達成するため の改善点	地域公共交通協議会を設置し、公共交通空白地区への対応、市内循環バスの更なる利便性の向上や、将来にわたって持続可能な運行計画の検討・策定に着手した。	令和3年2月に完成した地域公共交通計画に基づき、公共交通空白地区への対応、市内循環バスの更なる利便性の向上や、将来にわたって持続可能な運行計画の検討・策定等の各種施策を推進する。	

協働事業:2-①エコライフ

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.90参照

重点的施策: エコライフの推進・普及

施策概要: 環境啓発として、事業者・個人でも行える地球温暖化防止のための啓発を実施する。

所管課又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	地球温暖化防止のための啓発推 進	地球温暖化防止のための啓発推 進	地球温暖化防止のための啓発推 進
実績	地球温暖化防止のための啓発として広報あさかに掲載した。 ・ アイドリングストップ 1回 ・ エコドライブ 1回 ・ エコライフ 2回 ・ 節電 2回	地球温暖化防止のための啓発として広報あさかに掲載した。 ・ アイドリングストップ 1回 ・ エコドライブ 1回 ・ エコライフ 2回 ・ 節電 2回	
実績に対する評価	広報やホームページ等を活用することにより、温暖化対策や省エネ、節電などを啓発することができた。		
今後の取組 や見直し事項	引き続き、温暖化対策や省エネ 行動等への周知・啓発を行って いく。		

<用語解説> アイドリングストップ:自動車が走っていないときにエンジンのかけっぱなし(アイドリング)はやめようという取り組み。

重点的施策: エコライフの推進・普及

施策概要: 二酸化炭素削減のきっかけづくりと共に、家庭向け節電対策として省エネ・省資源など

環境に配慮した暮らし方に取り組むエコライフDAYを実施し、チェックシートの記入を

することにより、エコライフの普及を推進する。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

		1	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	エコライフDAYチェックシート回収率 100%	エコライフDAYチェックシート回収率 100%	エコライフDAYチェックシート回収率 100%
実績	実施回数 2回 回収率 94.9%	実施回数 2回 回収率 94.4%	
実績に対する評価	コライフDAYを実施したことにより、エコを意識することができた。また、希望する市民団	により、エコを意識することが	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、エコライフDAYを 実施し、エコ意識の向上に努め る。		

重点的施策: エコライフの推進・普及

施策概要: 朝霞市環境マネジメントシステムの運用を図ることにより、庁内の電力、紙、燃料の使用量削減、ごみの減量を推進する。

所管課又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課)

別目球又は関係球・	球况]正医环(山球况下工际)	ī	T T
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	朝霞市地球温暖化対策実行計画 運用マニュアルに基づき、庁内 のエネルギー使用量を削減す る。	朝霞市地球温暖化対策実行計画 運用マニュアルに基づき、庁内 のエネルギー使用量を削減す る。	朝霞市地球温暖化対策実行計画 運用マニュアルに基づき、各事 務事業における環境法令等を把 握・意識し、事務事業を実施す る。
実績	朝霞市地球温暖化対策実行計画 運用マニュアルに基づき、庁内 のエネルギー使用量を削減する ことができた。	朝霞市地球温暖化対策実行計画 運用マニュアルに基づき、庁内 のエネルギー使用量を削減する ことができた。	
実績に対する評価	従来のシステムをより効率化することで、事務負担を軽減することができ、また、エネルギー使用量を削減することができた。	従来のシステムをより効率化することで、事務負担を軽減することができ、また、エネルギー使用量を削減することができた。	
今後の取組 や見直し事項		事務負担の軽減を行ったが、同時に環境配慮活動への意識が低下しないよう、意識付けの向上及び運用の具体化に努める。	

重点的施策: 3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進による温暖化対策の推進

施策概要: 啓発冊子・啓発品・ごみの出し方等掲載のパンフレット等を作成し、配布する。3R活

動普及に向けた啓発事業を実施する。啓発記事を広報に掲載する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

所管課又は関係課:	貧源リリイクル誄		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	引き続き3R推進の啓発推進 ごみ減量啓発冊子、ごみ分別パ ンフレット等の配布	引き続き3R推進の啓発推進 ごみ減量啓発冊子、ごみ分別パッフレット全戸配布。外国人向けのパンフレット、注意看板の配布	引き続き3R推進の啓発推進 ごみ減量啓発冊子、ごみ分別パッソフレット等の配布。外国人向けの注意看板の作成
実績	・ 環にいいて、	・分別キャンペーン(2月) 適切な分別を推進するため、 キャンペーン実施(広報掲載、 HP掲載)ごみ収集車に啓発の マグネット設置、市内掲示板・ 公共施設等にポスター掲出、簡 易版パンフレットに記事掲載 ・資源とごみの分け方・出し方	
実績に対する評価	目標達成	目標達成	
今後の取組 や見直し事項	対象者の拡大を検討する。	対象者の拡大を検討する。	

<用語解説> 3R(スリーアール):ごみ減量の行動理念である次の3つの頭文字(R)をとった運動で、次 の順番で取り組むことにより、ごみを減らす効果がある。
・リデュース(Reduce)減らす…ごみになりそうなものは、買う量・使う量ともに減らす。
・リユース(Reuse)再利用…修理などで繰り返し使い、ものの寿命を最大限生かす。
・リサイクル(Recycle)再資源化…再利用できず廃棄されるものを正しく分別し、資源とする。

協働事業:2-②環境に配慮した交通手段

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.90参照

重点的施策: 歩道の確保、遊歩道の整備

施策概要: 歩行者の安全を確保するため、歩道の新設、歩道拡幅整備、遊歩道の維持管理を図る。

所管課又は関係課: 道路整備課(旧道路交通課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	歩道舗装に可能な限り透水性舗装を行う。歩行者が安全に通行できるよう遊歩道の路面清掃や 定期除草を実施する。	歩道舗装に可能な限り透水性舗装を行う。歩行者が安全に通行できるよう遊歩道の路面清掃や 定期除草を実施する。	歩道舗装に可能な限り透水性舗装を行う。歩行者が安全に通行できるよう遊歩道の路面清掃や 定期除草を実施する。
実績	歩道整備延長 192m	歩道整備延長 96.2m	
実績に対する 評価	歩行者が安全に通行できてい る。	歩行者が安全に通行できている。	
今後の取組 や見直し事項	歩道の整備を進める。	歩道の整備を進める。	

<用語解説> 透水性舗装:舗装面に降った雨水を舗装材の空隙を通して地中に浸透させる舗装のこと。

重点的施策: 放置自転車対策の推進

施策概要: 放置自転車の指導・撤去を実施し、返還日に保管場所で撤去した自転車を返還する。保

管期限(約3か月)を過ぎた自転車等は処分する。

所管課又は関係課: まちづくり推進課(旧道路交通課)

川官誌又は関係誌・	みりフトリ1世座所 (旧座町文	也坏/	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	指導日数 102日 撤去回数 25回 撤去台数 500台	指導日数 102日 撤去回数 25回 撤去台数 500台	指導日数 102日 撤去回数 25回 撤去台数 500台
実績	指導日数 97日 撤去回数 33回 撤去台数 369台	指導日数 95日 撤去回数 29回 撤去台数 156台	
実績に対する評価	撤去回数は、目標を達成できた が、指導日数および撤去台数は 目標に及ばなかった。		
今後の取組 や見直し事項	撤去を実施するにあたり、曜日 や撤去場所をよく考えて、最小 限の経費で最大限の効果が現れ るよう工夫していく。		

重点的施策: 自転車利用環境の整備、交通安全意識の高揚

施策概要: 春、夏、秋、冬の交通安全街頭活動を実施する。小学生への交通安全作品の募集し、表

彰する。交通安全啓発看板を作成し配置する。市内小学4年生を対象に自転車免許証交付

の為の実地指導や高齢者の自転車・歩行コンクールを実施する。

所管課又は関係課: まちづくり推進課(旧道路交通課)

所官課乂は関係課	よりフトリ推進誌(旧追聞文	(地) 木 / ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	交通安全街頭活動 4回 交通安全教室実施 42回	交通安全街頭活動 4回 交通安全教室実施 42回	交通安全街頭活動 4回 交通安全教室実施 42回
実績	交通安全街頭活動 3回 交通安全教室実施 56回	交通安全街頭活動 〇回 交通安全教室実施 30回	
実績に対する評価	交通安全街頭活動は、目標を達成できた。安全教室は目標を大幅に超過し達成できた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかった。	
今後の取組 や見直し事項	今後も、現行の回数を維持し、 交通安全街頭活動、安全教室を 実施していく。	新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、実施可能な 啓発活動を推進する。	

重点的施策: 路線バス、市内循環バスの利便性向上

施策概要: 路線数 4路線·運行距離34.2km、バス停数70か所·運行数平日97本、休日76本 ノンステップバス導入のバス事業者に購入費の一部を補助する。

所管課又は関係課: まちづくり推進課(旧道路交通課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	市内循環バス利用者 407,000人 路線バスノンステップ等導入補助金 2台	市内循環バス利用者 415,000人 路線バスノンステップ等導入補助金 2台	市内循環バス利用者 422,000人 路線バスノンステップ等導入補助金 2台
実績	市内循環バス利用者 415,286人 路線バスノンステップ等導入補助金 2台	市内循環バス利用者 291,774人 路線バスノンステップ等導入補助金 0台	
実績に対する評価	市内循環バスの利用者及び、路線バスノンステップ等導入補助金ともに目標を達成できた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかった。	
今後の取組 や見直し事項	本市の地域公共交通について、 関係機関等と協議する地域公共 交通協議会を設置し、公共交通 計画の策定に向けた検討を進め ている。	令和3年2月に完成した地域公 共交通計画に基づき、市内循環 バスの更なる利便性の向上等の 各種施策を推進する。	

重点的施策: 鉄道利便性の向上

施策概要: 武蔵野線旅客輸送改善対策協議会、東武東上線改善対策協議会を通じて、鉄道の安全性

の確保、駅施設のバリアフリー化等の要望活動を実施する。

耐筒調収け関係調・まちづくり推准課(旧道路交通理)

川官謀乂は関係謀・	よりフトリ推進所(旧世四人)	也坏人	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	要望回数 2回	要望回数 2回	要望回数 2回
実績	要望回数 2回	要望回数 2回	
実績に対する 評価	目標のとおり要望活動を実施した。	目標のとおり要望活動を実施した。	
今後の取組 や見直し事項	継続して要望活動を実施していく。	継続して要望活動を実施していく。	

<用語解説> バリアフリー:障害者や高齢者等の社会生活弱者が社会生活に参加する上で、生活の支障となる 物理的な障害や精神的な障壁を取り除くための施策や具体的に障害を取り除いた状態のこと。

協働事業:2-③ヒートアイランド対策の推進

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.90参照

重点的施策: 透水性舗装等の推進(歩道・駐車場等)

施策概要: 主要市道の歩道新設整備や既設歩道改修を進め、歩行者やベビーカー、シルバーカー利

用者等の交通安全と交通環境の向上を図る。

所管課又は関係課: 道路整備課(旧道路交通課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	歩道舗装に可能な限り透水性舗装を行い、新設歩道内の緑化に努める。	歩道舗装に可能な限り透水性舗装を行い、新設歩道内の緑化に努める。	歩道舗装に可能な限り透水性舗 装を行い、新設歩道内の緑化に 努める。
実績	透水性舗装面積 223㎡	透水性舗装面積 184㎡	
実績に対する評価	水溜りができず、歩行者等が通 行しやすくなっている。	水溜りができず、歩行者等が通 行しやすくなるとともに、路面 の高温化を抑制し、街路樹の育 成にも良い影響を与えている。	
今後の取組 や見直し事項	歩道の整備を進める。	歩道の整備を進める。	

<用語解説> ヒートアイランド:都市部において、高密度にエネルギーが消費され、また、地面の大部分がコンクリートやアスファルトで覆われているために水分の蒸発による気温の低下が妨げられて、郊

外部よりも気温が高くなっている現象

重点的施策: 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等) (再掲)

施策概要: 現在実施している植木の剪定・ロータリー部分の花壇への季節の草花の植栽、駐車場周

辺に設置したプランターへの季節の草花の植栽、夏季における庁舎への緑のカーテンの

設置を継続して実施する。

所管課又は関係課: 財産管理課

※ P. 9「重点的施策:公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等)」参照

重点的施策: 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等) (再掲)

施策概要: 各保育園の屋上緑化や緑のカーテンを推進する。(浜崎・東朝霞・溝沼・本町・根岸

台・北朝霞・栄町・泉水・さくら・宮戸・仲町保育園)

所管課又は関係課:保育課(旧子育て支援課)

※ P. 9「重点的施策:公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等)」参照

重点的施策: 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等) (再掲)

施策概要: 学校に設置した屋上緑化・壁面緑化等の維持管理を行う。(第四・五・七・八小学校、

第一中学校)

所管課又は関係課: 教育総務課

※ P. 10「重点的施策:公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等)」参照

重点的施策: 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等) (再掲)

施策概要: 公共施設の屋上緑化や壁面緑化等を推進する。

所管課又は関係課: 施設所管課

※ P. 10「重点的施策:公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等)」参照

協働事業:2-④自然エネルギーの活用

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.90参照

重点的施策: 住宅や民間施設でのグリーンカーテン等の普及促進

施策概要: 広報や環境啓発冊子を通じて、グリーンカーテン等に関する内容を掲載することにより

普及促進する。

所管課又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課)

ガー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	広報や環境啓発冊子に、グリーンカーテン等の普及に関する内容を掲載する。	広報や環境啓発冊子に、グリーンカーテン等の普及に関する内容を掲載する。	広報や環境啓発冊子に、グリーンカーテン等の普及に関する内容を掲載する。
実績	環境啓発冊子・広報・ホーム ページ掲載	環境啓発冊子・広報・ホーム ページ掲載	
実績に対する評価		広報やホームページ、環境啓発 用冊子に掲載し、グリーンカー テンの普及啓発を行うことがで きた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、環境啓発用冊子等に より普及啓発に努める。	引き続き、環境啓発用冊子等に より普及啓発に努める。	

<用語解説> 自然エネルギー:再生可能エネルギーのうち、太陽光や太陽熱、水力や風力、バイオマス資源 (持続可能な範囲で利用する場合)、地熱、波力、温度差などのエネルギーのこと。

重点的施策: 住宅用太陽光発電設備設置の推進

施策概要: 地球温暖化対策の一環として、環境への負荷の少ない住宅用太陽光発電システムの設置

費の一部を補助し、太陽光を利用したクリーンエネルギーの導入を促進する。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

川官謀乂は関係謀・	<u> </u>		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	住宅用太陽光発電外元 設置費補助申請総戸数 965戸	住宅用太陽光発電汎元 設置費補助申請総戸数 1,033戸	住宅用太陽光発電汎テム 設置費補助申請総戸数 1,102戸
実績	住宅用太陽光発電システム 設置費補助申請・交付件数 総戸数956戸 (うちR1交付戸数は26戸)	住宅用太陽光発電以元 設置費補助申請・交付件数 総戸数976戸 (うちR2交付戸数は20戸)	
実績に対する評価	補助制度が市民に活用され、ク リーンエネルギーの導入の一助 となっている。	補助制度が市民に活用され、ク リーンエネルギーの導入の一助 となっている。	
最終目標値を 達成するため の改善点	引き続き、補助制度を実施し、 クリーンエネルギーの導入を促 進する。	引き続き、補助制度を実施し、 クリーンエネルギーの導入を促 進する。	

重点的施策: 住宅用太陽光発電設備設置の推進

施策概要: 太陽光発電以外の再生可能エネルギーの導入について調査・研究する。

新管理又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実績			
実績に対する評価	情報収集による対象設備の拡充を図ったことにより、再生可能 エネルギー導入の普及啓発を推 進することができた。		
今後の取組 や見直し事項	今後も情報収集を行い、本市の 特色に合うものがないか検討を 行っていく。		

<用語解説> 再生可能エネルギー:有限で枯渇の危険性を有する石油・石炭などの化石燃料や原子力と対比し て、自然環境の中で繰り返し起こる現象から取り出すエネルギーの総称

重点的施策: 公共施設の太陽光発電実用化の検討

施策概要: 地球温暖化対策の一環として、環境への負荷の少ない太陽光発電を市が率先して様々な

形態で公共施設へ導入することにより、その普及の推進や啓発を図る。

【既に太陽光発電システムを設置している施設】

根岸台・膝折市民センター、産業文化センター、市役所別館、リサイクルプラザ、総合福祉センター、溝沼複合施設、宮戸保育園、第四・五・十小学校、第一中学校、溝沼学校給食センター、中央公園野球場、内間木公民館

所管課又は関係課: 施設所管課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	太陽光発電システムの普及・推進	太陽光発電システムの普及・推進	太陽光発電システムの普及・推進

他域づくり支援課

実績	5169. 9kWh/年	根岸台市民センター 8377.5kWh/年 膝折市民センター 6220.0kWh/年	
実績に対する 評価		太陽光発電システムを導入し、 地球温暖化対策を実施できた。	
	今後も太陽光発電システムにより、環境への配慮をしていく。		

<用語解説> kwh/年:ここでは、年間発電量のことをいう。

産業振興課

実績	産業文化センター 23,133kWh	産業文化センター 8,860kWh	
実績に対する評価	屋根貸しを行い、太陽光発電シ ステムを導入することができ た。	屋根貸しを行い、太陽光発電システムを導入することができた。 ※昨年度と比較して減少している理由は、7月~2月に改修工事を行ったため。	
今後の取組 や見直し事項	今後も適切な維持管理を依頼し ていく。	今後も適切な維持管理を依頼していく。	

環境推進課(旧環境保全課)

-7/1-701 E/C-0/1-			
実績		朝霞市役所別館 15,875.17kWh/年	
実績に対する評価	市庁舎の電気の活用や災害時の 非常用電源の一つとして、発電 することができた。		
今後の取組 や見直し事項		定期的に発電状況の確認を行 い、その維持管理に努める。	

<u>資源リサイクル課</u>

実績	リサイクルプラザ 11,618kWh/年	リサイクルプラザ 12,093kWh/年	
	設備は故障なく稼動し、順調に 発電した。	設備は故障なく稼動し、順調に 発電した。	
ラ俊の取組	設備を利用することで、施設見学者等へ再生可能エネルギーを引続きPRする。		

保育課(旧子育て支援課)

実績	宮戸保育園 データなし	宮戸保育園 データなし	
実績に対する評価	電量は不明であるが、発電した	データを記録する機能がなく発電量は不明であるが、発電した電気を消費することができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も継続して取り組んでい く。	今後も継続して取り組んでいく。	

福祉相談課(旧福祉課)

実績	総合福祉センター 61,720kWh	総合福祉センター 61,223kWh	
	設備は、故障なく稼動し、順調 に発電した。	設備は、故障なく稼働し、順調 に発電した。	
今後の取組 や見直し事項	継続して屋根貸しを行い、引き 続き、維持管理に努めていく。	継続して屋根貸しを行い、引き 続き、維持管理に努めていく。	

こども未来課(旧子育て支援課)

実績	溝沼複合施設 10,197.5kWh/年	溝沼複合施設 10,182.1kWh/年	
実績に対する評価	施設内で発電量等について情報 提供を行い、クリーンエネル ギーの普及啓発を図ることがで きた。	提供を行い、クリーンエネル	
今後の取組み や見直し事項	引き続き、普及啓発を図る。	引き続き、普及啓発を図る。	

教育総務課

実績	四小 データなし(※1) 五小 12,282 kWh/年 十小 104,440kWh/年 (屋根貸し) 一中 7,394kWh/年	四小 14,626 kWh/年 五小 12,489 kWh/年 十小 95,720 kWh/年 (屋根貸し) 一中 0 kWh/年(※2)	
実績に対する 評価	引き続き、維持管理に努めていく。	引き続き、維持管理に努めていく。	
今後の取組 や見直し事項	施設整備等に併せ、他の学校に ついても導入について検討して いく	施設整備等に併せ、他の学校に ついても導入について検討して いく	

- ※1 第四小は発電量を計測するPCが故障のため集計できず。 ※2 第一中は太陽光発電設備が故障のため発電できず。

学校給食課

実績	溝沼学校給食センター 4,122.0kWh/年	溝沼学校給食センター 4,015.0kWh/年		
実績に対する 評価	設備は故障なく稼働し、発電した。	設備は故障なく稼働し、発電した。		
		今後も太陽光システムにより、 環境への配慮をしていく。		

生涯学習・スポーツ課(旧スポーツ課)

実績	中央公園野球場 データ無し	中央公園野球場 データ無し	
実績に刈りる	太陽光発電システムが設置して あり、電光掲示板のみに電力を		
今後の取組 や見直し事項		今後も太陽光システムにより、 環境への配慮をしていく。	

中央公民館

実績	内間木公民館 20,115kWh/年	内間木公民館 20,100kWh/年	
実績に対する 評価	引き続き、維持管理に努めていく。	引き続き、維持管理に努めていく。	
		今後も太陽光システムにより、 環境への配慮をしていく。	

協働事業:2-⑤CO2削減プラン

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.90参照

重点的施策: 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(改正省エネ法)等への対応

施策概要: 国及び県は、温室効果ガス削減に向けた排出量の報告を義務付けた。今後においても、

削減目標の設定や実績報告が求められるため、更なる全庁的な目標値の達成への取り組

みを行う。

所管課又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課) • 教育総務課

771 BUNNING STATE		אט כעניטייוי ב דיאני	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	中長期的に年平均1%以上のエネルギー消費の低減	中長期的に年平均1%以上のエネルギー消費の低減	中長期的に年平均1%以上のエネルギー消費の低減

所管課又は関係課:	環境推進課	(旧環境保全課)

所管課又は関係課:	<u> </u>		
実績	エネルギー使用量(原油換算) ・市長部局 3.0%減少 (対H30年度実績) ・うちクリーンセンター 0.7%減少 (対H30年度実績)	エネルギー使用量(原油換算)・市長部局1. 0%減少(対R1年度実績)・うちクリーンセンター 0. 8%増加 (対R1年度実績)	
実績に対する 評価	市長部局全体として、年平均 1%以上のエネルギー使用量を 削減することができた。	市長部局全体として、年平均 1%以上のエネルギー使用量を 削減することができた。	
		近年は施設や業務量が増加する 一方、ハード面での省エネ対策 が困難な状態となっている。職 員への意識啓発によるエネル ギー使用量の削減や効率的なエ ネルギー利用に務めていく。	

所管課又は関係課: 教育総務課

川日味人は別が味・			
実績	エネルギー使用量(原油換算) ・教育部局(教育委員会) 2.7%減少 (対H30年度実績)	エネルギー使用量(原油換算) ・教育部局(教育委員会) 2. 4%増加 (対R元年度実績)	
実績に対する評価	教育委員会全体として削減する ことができた。	教育委員会全体としてエネル ギー使用量が増加する結果と なってしまった。	
今後の取組 や見直し事項	い、引き続きエネルギー使用量	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、換気を行いながら空気調和設備(エアコン)を使用したこと等により増加した。 今後、さらなる職員への意識啓発等を行い、エネルギー使用量削減に向けて努力していく。	

重点的施策: 公用車のエコカー導入の推進

施策概要: 財産管理課が集中管理する公用車について、地球温暖化対策の一環として、環境への負

荷が少ない低公害車(通称・エコカー)の導入を推進する。

所管課又は関係課: 財産管理課

	为左日廷郎		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	導入台数 5台	導入台数 5台	導入台数 5台
実績	導入台数 9台	導入台数 4台	
実績に対する評価	技術開発等により低公害車が広く普及し、一般的な仕様の車両でも低公害車となった。		
今後の取組 や見直し事項	引き続き低公害車の導入を続ける。	引き続き低公害車の導入を続ける。	

重点的施策: 電気自動車用急速充電器の導入

施策概要: 環境に配慮したエコカーである電気自動車の普及を推進するため、電気自動車用急速充

電器を設置し、その利用を促す。

所管課又は関係課: 環境推進課(IA環境保全課)

川日味人は別が味・			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	電気自動車急速充電器の利用回数 350回	電気自動車急速充電器の利用回数 350回	電気自動車急速充電器の利用回数 350回
実績	電気自動車急速充電器の利用回数 88回	電気自動車急速充電器の利用回数 62回	
実績に対する評価	広報やホームページにより、急 速充電器の利用を促し、活用し ていただくことができた。		
今後の取組 や見直し事項	今後も広報等により、周知啓発 を行い、利用を促していく。	今後も広報等により、周知啓発 を行い、利用を促していく。	

重点的施策: 小水力発電共同事業

施策概要: 安定した流量・圧力で流入する県水を活用して発電用水車を回転させ発電を行う。発電

した電力は、共同事業者が再生可能エネルギーとして電力会社に売電する。

所管課又は関係課: 水道施設課

MEMAINIM.			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	予定年間発電量 469,000kWh	予定年間発電量 469,000kWh	予定年間発電量 469,000kWh
実績	年間発電量 477,324kWh	年間発電量 467,052kWh	
実績に対する評価	設備は故障なく稼動し、予定年 間発電量を上回る年間発電量が あった。	概ね予定どおりに発電すること ができた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、現行設備を活用し、 クリーンエネルギーを推進して いく。	引き続き、現行設備を活用し、 クリーンエネルギーを推進して いく。	

資源の環(3Rの推進、 循環型社会の形成) 重点的取組3

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.92参照

【環境指標】を設定した事業

環境指標: 市民1人当たりごみ排出量

指標概要: 啓発冊子・啓発品・ごみの出し方等掲載のパンフレット等を作成し配布する。3R活動普

及に向けた啓発事業を実施する。啓発記事を広報に掲載する。地域リサイクル活動推進 補助金事業を実施する。ごみ集積所及び資源物横取り防止監視パトロールを実施する。

事業担当課: 資源リサイクル課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	排出量 552g/人·日以下	排出量 497g/人·日以下	排出量 497g/人·日以下
実績	572g/人·日	592g/人	
実績に対する 評価	目標を未達成	目標を未達成	
最終目標値を 達成するため の改善点	人口の増加と共に家庭ごみが増加に転じたことや、目標を達成するためには、さらなるごみの減量が必要	コロナ禍により家庭ごみ排出量が増加したため、分別の徹底・ ごみ排出量の削減を啓発してい く必要がある。	

環境指標: 再生利用率

指標概要: 啓発冊子・啓発品・ごみの出し方等掲載のパンフレット等の作成し配布する。3R活動普及に向けた啓発事業を実施する。啓発記事を広報に掲載する。地域リサイクル活動推進補助金事

業を実施する。ごみ集積所及び資源物横取り防止監視パトロールを実施する。

事業担当課:資源リサイクル課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	再生利用率 35.9%	再生利用率 36.8%	再生利用率 36.8%
実績	再生利用率 33.1%	再生利用率 33.3%	
実績に対する 評価	目標を達成することができな かった。	目標を達成することができなかった。	
最終目標値を 達成するため の改善点	資源回収量を増やす為、リサイクル推進補助金登録団体の増加や、資源回収量増加の為の周知を実施する。燃やすごみに含まれる資源物の分別の周知を徹底する。	ダンボールの排出量が増加したことなどから、再生利用率は上昇した。今後、燃やすごみに含まれる紙類などの分別の周知を徹底する。	

協働事業:3-①リデュース

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.92参照

重点的施策: リデュースの普及(ごみ減量意識の啓発) (再掲)

施策概要: 啓発冊子・啓発品・ごみの出し方等掲載のパンフレット等を作成し配布する。3R活動普

及に向けた啓発事業を実施する。啓発記事を広報に掲載する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

※ P. 29「重点的施策: 3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進による温

暖化対策の推進」参照

重点的施策: エコバッグ運動等リデュースの促進

施策概要: 啓発品の作成し配布する。啓発記事を広報・ホームページに掲載する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

	只心 ノノーノル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	広報・ホームページ・店頭啓発 活動等を活用し、啓発活動を実 施し、リデュースの促進を図 る。	広報・ホームページ・店頭啓発 活動等を活用し、啓発活動を実 施し、リデュースの促進を図 る。	広報・ホームページ・店頭啓発 活動等を活用し、啓発活動を実 施し、リデュースの促進を図 る。
実績	啓発品の作成や配布はせず、 ホームページでの啓発記事を掲載したほか、店頭啓発活動を実施した。	広報・ホームページで啓発記事 を掲載した。店頭啓発活動は、 コロナ禍の影響により実施でき なかった。	
実績に対する評価	スーパーでのレジ袋削減などで マイバッグ持参が増え、リ デュース促進に繋がっている。	レジ袋有料化によりマイバッグ 持参が増え、リデュース促進に つながった。	
今後の取組 や見直し事項	今後も啓発品の配布は実施せず、広報やホームページ、各種イベントなどを活用する。	今後も、広報やホームページ、 各種イベントなどを活用して啓 発に努める。	

重点的施策: **生ごみの減量化促進(水切りの徹底、生ごみ処理等の促進)**

施策概要: 啓発冊子・啓発品・ごみの出し方等掲載のパンフレット等を作成し配布する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	・生ごみ減量化の水切ネットの配布 ・ごみ分別パンフレットの配布	・生ごみ減量化の水切ネットの配布・ごみ分別パンフレットの全戸配布	・生ごみ減量化の水切ネットの配布・ごみ分別パンフレットの配布
実績	·生ごみ減量化の水切ネットの配布 ・ごみ分別パンフレットの全転入者への配布	生ごみ減量化の水切ネットの配布と、ごみ分別パンフレットの全戸配布を実施した。	
実績に対する 評価	市民の方へ生ごみ減量化について啓発できた。	市民の方へ生ごみ減量化について啓発できた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き次年度も同様に事業を 実施する。※全戸配布は3年程 度に1度	引き続き次年度も同様に事業を 実施する。	

重点的施策: 生ごみの減量化促進(水切りの徹底、生ごみ処理等の促進)

施策概要: 生ごみ堆肥化ができる業者へ給食の生ごみの回収を委託することにより、ごみの減量

化・資源化を推進する。

所管課又は関係課: 施設所管課

WELL STORY OF THE	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	約150 t	約150 t	約150 t
	(800㎏/日)	(800㎏/日)	(800kg/日)

学校給食課

実績	80. 151 t (428.6kg/日)	73. 233t (430.8kg/日)	
実績に対する 評価	ごみの減量化・資源化を推進することができた。	ごみの減量化・資源化を推進することができた。	
今後の取組 や見直し事項	生ごみの減量化に今後も努めていく。	生ごみの減量化に今後も努めていく。	

[※]実績は、生ごみ回収量

保育課(旧子育て支援課)

実績		公立保育園11園で実施 21.075 t (71.93kg/日)	
実績に対する 評価	ごみの減量化・資源化を推進することができた。	ごみの減量化・資源化を推進することができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も継続して取り組んでい く。	今後も継続して取り組んでいく。	

[※]実績は、生ごみ回収量

福祉相談課(旧福祉課)

実績	総合福祉センター 塵芥処理実績 1.632 t	総合福祉センター 塵芥処理実績 1.866 t	
実績に対する 評価	が 前年度(1.889t)に比べ 約14%減少できた。	前年度(1.632t)に比べ 約14%増加した。	
今後の取組 や見直し事項	生ゴミの減量化に今後も努めていく。	生ゴミの減量化に今後も努めていく。	

[※]実績は、生ごみ回収量

長寿はつらつ課

実績	の分別の徹底が必須になる。以前より入居者の給食等の生ごみの分別について試行錯誤しているが、実現に至っておらず未実施となっている。このことからもごみの総量の減量化を図るた	特別養護老人ホーム朝光苑 生ごみを堆肥化できる業者への 回収委託を行うためにはなるになる の分別の徹底が必須に等の 前より入居者の給食等誤して の分別に至いるが、 るが、ここで るが、なっこの にでする のが、なって をといる もごみの はいる もこの はいる を出る を出る を出る を出る を出る を出る を出る を出る を出る を出	
実績に対する評価	食材購入に当たっては、適量購入を行なっている。また、購入 食材を無駄にしないよう調理を 工夫している。	食材購入に当たっては、適量購入を行なっている。また、購入 食材を無駄にしないよう調理を 工夫している。	
今後の取組 や見直し事項	今後も食材の徹底管理を行い無 駄を省く努力を継続する。また 生ごみの堆肥化に向けて分別方 法について引き続き検討を行っ ていく。	今後も食材の徹底管理を行い無駄を省く努力を継続する。また生ごみの堆肥化に向けて分別方法について引き続き検討を行っていく。	

協働事業:3-②リユース

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.92参照

重点的施策: リユースの普及(ごみ減量意識の啓発) (再掲)

施策概要: 啓発冊子・啓発品・ごみの出し方等掲載のパンフレット等を作成し配布する。3R活動普

及に向けた啓発事業を実施する。啓発記事を広報に掲載する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

※ P. 29「重点的施策: 3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進による温

暖化対策の推進」参照

重点的施策: リサイクル家具等の活用

施策概要: 市内の家庭で不用になった家具を引き取り、補修のうえ展示し、毎月1回抽選販売す

『界域女・る。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

所官課人は関係課・	貝ポソソインル味		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	家具の販売 年間580個	家具の販売 年間580個	家具の販売 年間580個
実績	403個の家具を販売した。	282個の家具を販売した。	
実績に対する評価	家具の引取り、販売とも順調に 実施できた。	コロナ禍により4月2日~5月31日までリサイクルプラザを休所し、その間、家具の引取り、販売も休止したが、それ以外の期間は着実に実施できた。	
今後の取組 や見直し事項		より多くの利用をいただくよう に、引続き、事業のPRに努め る。	

重点的施策: リサイクル自転車活用

施策概要: 地球にやさしいリサイクル活動の一環として、撤去された放置自転車を整備し、再利用

自転車として販売する。

所管課又は関係課: まちづくり推進課(旧道路交通課)

川ら味入る内が味・				
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度	
目標	80台	80台	80台	
実績	11台	O台		
実績に対する評価		撤去台数が減少し、リサイクル に適した車両の確保が難しく なったため、目標台数に及ばな かった。		
今後の取組 や見直し事項	継続して放置自転車のリサイクルを進める。	継続して放置自転車のリサイク ルを進める。		

協働事業:3-③リサイクル

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.92参照

重点的施策: リサイクルの普及、分別の徹底(リサイクル意識の啓発)

施策概要: 啓発冊子・啓発品・ごみの出し方等掲載のパンフレット等を作成し配布する。3R活動普

及に向けた啓発事業を実施する。啓発記事を広報に掲載する。地域リサイクル活動推進補助金事業を実施する。ごみ集積所及び資源物横取り防止監視パトロールを実施する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

※ P. 29「重点的施策: 3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進による温

暖化対策の推進」参照

重点的施策: 地域リサイクル活動の推進(集団資源回収等)

施策概要: 資源物を回収する登録団体に地域リサイクル活動推進補助金を交付する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	1, 742, 000kg	1, 744, 000kg	1, 744, 000kg
実績	1, 599, 582kg	1, 301, 703kg	
実績に対する評価	目標を達成できなかった。	目標を達成できなかった。紙類は年々回収量が減少しており、 状況の注視が必要と思われる。	
今後の取組 や見直し事項	制度の周知を行い、登録団体の 増加に努める。(令和元年度末 時点 170団体)		

※「目標」「実績」の数値は、地域リサイクル活動による回収量

重点的施策: 廃棄物の資源化の推進

施策概要: 啓発冊子・啓発品・ごみの出し方等掲載のパンフレット等の作成し配布する。3R活動普

及に向けた啓発事業を実施する。啓発記事を広報に掲載する。地域リサイクル活動推進補助金事業を実施する。ごみ集積所及び資源物横取り防止監視パトロールを実施する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	リサイクル率 29.0%	リサイクル率 30.0%	リサイクル率30.0%
実績	リサイクル率 26.8%	リサイクル率 27.1%	
実績に対する 評価	目標を達成できなかった。	目標を達成できなかった。	
今後の取組 や見直し事項	広報やホームページ、チラシなどを使用し3R推進・ごみ分別の啓発を行う。燃やすごみに含まれる資源物の分別の周知を徹底する。	リサイクル率は上昇しているため、適正な分別による資源化は進んでいると思われる。今後も広報やホームページなどを使用し、3R推進・ごみ分別の啓発を行う。燃やすごみに含まれる紙などの資源物の分別の啓発を行う。	

協働事業:3-④エコネットあさか(リサイクルプラザ)での活動の充実

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.92参照

重点的施策: エコネットあさか(リサイクルプラザ)での環境学習・活動事業等の普及

施策概要: 年間を通してリサイクルプラザを利用した各種講座を開催するとともに、広報あさかを

通じて講座を紹介する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	リサイクルプラザを利用した各種講座を開催する。広報あさかを通じて講座を紹介する。	リサイクルプラザを利用した各種講座を開催する。 広報あさかを通じて講座を紹介する。	リサイクルプラザを利用した各種講座を開催する。広報あさか を通じて講座を紹介する。
実績	講座開催回数 5回参加人数 36人広報あさかの掲載 5回	講座開催回数 3回参加人数 21人広報あさかの掲載 2回	
実績に対する評価	市は受付業務やPRの手伝いを 行うなど、お互いが連携し、協	事業は、リサイクルプラザ企画 運営協議会が企画・実施した。 市は受付業務やPRの手伝いを 行うなど、お互いが連携し、協 力し合い、スムーズに事業を実 施した。	
今後の取組 や見直し事項	事業の充実を図り、引続き、ご みの減量や環境に関する情報発 信に努める。	事業の充実を図り、引続き、ご みの減量や環境に関する情報発 信に努める。	

<用語解説> エコネットあさか:朝霞市リサイクルプラザの通称。3R活動を推進するための情報拠点施設で、 関連図書の閲覧・貸出ができるリサイクル情報図書コーナー、不用品の代行販売を行うリサイクルショップ、リユース品の斡旋を行う不用品情報交換コーナー、不用になった家具類を引き取り、修 理・再生して販売するリサイクル家具展示コーナー、各種講座・教室を行うリサイクル活動室など がある。

重点的施策: 朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会との連携充実・支援

施策概要: 朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会と市との協働により、ごみの減量や資源循環等

に関する各種講座・教室・イベントを企画運営する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	ごみの減量や資源循環等に関する各種講座・教室・イベントを 企画運営する。	ごみの減量や資源循環等に関する各種講座・教室・イベントを 企画運営する。	ごみの減量や資源循環等に関する各種講座・教室・イベントを 企画運営する。
実績	講座開催回数 5回参加者数 36人スタッフ会議 10回	講座開催回数 3回参加者数 21人スタッフ会議 4回	
実績に対する評価	事業は、リサイクルプラザ企画 運営協議会が企画・実施した。 市は受付業務やPRなどの活動 支援に努めた。	事業は、リサイクルプラザ企画 運営協議会が企画・実施した。 市は受付業務やPRなどの活動 支援に努めた。	
今後の取組 や見直し事項	朝霞市リサイクルプラザ企画運 営協議会と連携し、各種講座等 の充実に努める。	朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会と連携し、各種講座等 の充実に努める。	

重点的取組4 環境学習の環(環境教育・環境学習の推進)

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.94参照

【環境指標】を設定した事業

環境指標: 環境大学参加者数(のべ)

指標概要: 市民が、環境について専門知識を学び理解を深め、環境に配慮したライフスタイルを確

立していくための学習の場として環境大学を開講する。(4回受講)

事業担当課:資源リサイクル課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	参加人数130人 (年1回4日間)	参加人数130人 (年1回4日間)	参加人数130人 (年1回4日間)
実績	参加人数 〇人	参加人数 〇人	
実績に対する評価	リサイクルプラザ企画運営協議 会の再編成に伴い、令和元年度 は、次年度の事業実施に向けて の協議を行った。	リサイクルプラザ企画運営協議 会の再編成に伴い、令和2年度 は、事業内容の協議を行った。	
最終目標値を 達成するため の改善点	朝霞市リサイクルプラザ企画運 営協議会と連携し、授業内容の 充実を図る。	朝霞市リサイクルプラザ企画運 営協議会と連携し、事業内容の 充実を図る。	

環境指標: エコネットあさか(リサイクルプラザ)での講座・展示・施設見学等実施日数

指標概要: リサイクルプラザ企画運営協議会と市との協働により、環境問題やごみの減量化に関す

る各種講座や啓発活動を更に進めるため移動展示などイベントを開催する。

事業担当課:資源リサイクル課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	講座開催日数 48日	講座開催日数 48日	講座開催日数48日
実績	講座開催日数 5日	講座開催日数 3日	
実績に対する評価	市は受付業務やPRの手伝いを 行うなど、お互いが連携し、協	事業は、リサイクルプラザ企画 運営協議会が企画・実施した。 市は受付業務やPRの手伝いを 行うなど、お互いが連携し、協 力し合い、スムーズに事業を実 施した。	
最終目標値を 達成するため の改善点	朝霞市リサイクルプラザ企画運 営協議会と連携し、引続き、各 種講座事業の充実に努める。	朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会と連携し、引続き、各種講座事業の充実に努める。	

協働事業:4一①環境教育の推進

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.94参照

重点的施策: 環境副読本の充実

施策概要: 朝霞市環境教育指導資料「あさかのかんきょう」を作成し、市内小学校3年生全員に配

布の上、各学校で活用し環境教育を行う。

所管課又は関係課: 教育指導課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	市内小学校3年生全員に冊子を 配付し、環境学習に活用する。	市内小学校3年生全員に冊子を配付し、環境学習に活用する。	社会科、理科等の教科用図書を 活用して、発展的に環境学習を 行う。
実績	市内小学校3年生全員に冊子を 1,315部作成し、環境学習 に活用した。	市内小学校3年生全員に冊子を1,325部作成し、環境学習に活用した。	
実績に対する評価	社会科や理科、総合的な学習の時間等の授業で活用し、朝霞の自然や環境、ゴミ問題、リサイクル等について学習する一助としている。		
今後の取組 や見直し事項	引き続き配付を継続し、環境学 習の充実を図る。	令和2年度をもって、本施策は 終了する。	

重点的施策: 環境教育の支援(環境学習・体験学習の補佐、指導員の派遣等)

施策概要: 市民企画講座事業において、環境学習に関する学びを行う団体・サークルの支援を行う。

所管課又は関係課: 生涯学習・スポーツ課(旧生涯学習課)

別官誌又は関係誌・			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	環境に関する学びを行う市民企 画講座利用団体 1団体	環境に関する学びを行う市民企 画講座利用団体 1団体	環境に関する学びを行う市民企 画講座利用団体 1 団体
実績	環境に関する学びを行う市民企画講座利用団体3団体に補助金を交付し、活動の支援を行った。 講座の回数 :12回延べ受講者数:149人	環境に関する学びを行う市民企画講座利用団体1団体に補助金を交付し、活動の支援を行った。 講座の回数 : 3回延べ受講者数:100人	
実績に対する評価	緑を活かした公園づくりや朝霞の自然環境・歴史文化の学習、 有機農法の体験実習講座の開催 を支援した。	自然環境を意識し、緑を活かした公園づくりや維持管理について、専門家を招いた講座やフィールドワークの開催を支援した。	
今後の取組 や見直し事項	引続き環境学習を行う団体が、 学習活動を行えるよう支援して いく。	引続き環境学習を行う団体が、 学習活動を行えるよう支援して いく。	

重点的施策: 「あさか学習おとどけ講座」のメニューの充実

施策概要: 生涯学習・スポーツ課と連携し、「あさか学習おとどけ講座」に環境に関する講座を増やす。

所管課又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課)

別日味又は関係は・			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	生涯学習・スポーツ課と連携し 情報収集、環境に関する講座の 検討	生涯学習・スポーツ課と連携し 情報収集、環境に関する講座の 検討	生涯学習・スポーツ課と連携し 情報収集、環境に関する講座の 検討
実績	あさか学習おとどけ講座の検討	あさか学習おとどけ講座の検討	
実績に対する 評価	環境に関する講座の募集はな かった。	環境に関する講座の募集はなかった。	
今後の取組 や見直し事項	生涯学習・スポーツ課と連携を 保ちながら、講座を開催するために様々なアプローチを検討し ていきたい。	生涯学習・スポーツ課と連携を 保ちながら、講座を開催するために様々なアプローチを検討し ていきたい。	

協働事業:4-②環境学習の推進(学習機会の充実)

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.94参照

重点的施策: 環境学習講座の開催

施策概要: 市内の小学生を対象に環境学習講座の開催または水質検査や生物調査等を実施し、環境

に関する学習の機会を設ける。

m管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

ガロ味人は肉が味・			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	黒目川・川まつり実行委員会が 主催する「黒目川・川まつり」 へ参加・協力し、水辺教室で 行っていた水質検査や生物調査 の実施を支援する。	黒目川・川まつり実行委員会が 主催する「黒目川・川まつり」 へ参加・協力し、水辺教室で 行っていた水質検査や生物調査 の実施を支援する。	黒目川・川まつり実行委員会が 主催する「黒目川・川まつり」 へ参加・協力し、水辺教室で 行っていた水質検査や生物調査 の実施を支援する。
実績	「黒目川・川まつり」への協力	コロナウイルス感染拡大防止の ため参加しなかった。	
実績に対する評価	当日参加した子ども達に対し、 水質検査(パックテスト)を一 緒に実施するほか、開催場所で 集められたゴミの分別・処分に ついて協力した。	め、翌日のごみの処分について	
今後の取組 や見直し事項	引き続き「黒目川・川まつり」 へ参加し、水質検査や生物調査 等の実施を支援していく。	引き続き「黒目川・川まつり」 へ参加し、水質検査や生物調査 等の実施を支援していく。	

重点的施策: 子ども大学あさかにおける環境学習の実施

施策概要: 子ども大学あさかのメニュー作りにおいて、環境に関する学習を取り入れるよう努め

る。

所管課又は関係課: 生涯学習・スポーツ課(旧生涯学習課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	学習実施回数 1回	学習実施回数 1回	学習実施回数 1回程度
実績	子ども大学あさかにおいて、令 和元年度は環境に関する学習は 実施しなかった。		
実績に対する評価	環境に関する学習は実施しなかったが、実行委員会において、環境に関する学習カリキュラム等の導入を検討していく。	環境に関する学習は実施しなかったが、今後も実行委員会において、環境に関する学習カリキュラム等の導入を検討していく。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、環境に関する学習カ リキュラムの導入を検討する。	引き続き、環境に関する学習カ リキュラムの導入を検討する。	

重点的施策: 環境大学の開講

施策概要: 市民が環境に関する様々な問題を正しく理解し、環境に配慮したライフスタイルを確立

していくための学習の場として環境大学を開講する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

から	臭心 ファーンル 味		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	年1回(4日間)実施	年1回(4日間)実施	年1回(4日間)実施
実績	参加人数 〇人	参加人数 〇人	
実績に対する評価	リサイクルプラザ企画運営協議 会の再編成に伴い、令和元年度 は次年度の事業実施に向けての 協議を行った。		
今後の取組 や見直し事項	朝霞市リサイクルプラザ企画運 営協議会と連携し、引続き、授 業内容の充実を図る。	朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会と連携し、各種講座の 開催により事業内容を代替す る。	

重点的施策: 【廃止】地域や家庭での環境学習・体験学習の推進、学校の開放等

施策概要: 学校開放講座において、環境に関する学習を取り入れるよう努める。

所管課又は関係課: 生涯学習・スポーツ課(旧生涯学習課)

※学校開放講座は平成29年度をもって事業を終了した。

協働事業: 4-3環境情報の発信

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.94参照

重点的施策: 環境情報の収集と発信

所官課又は関係課:	<u> </u>		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	冊子を発行し、環境情報の発信 をしていく。	冊子を発行し、環境情報の発信 をしていく。	冊子を発行し、環境情報の発信 をしていく。
実績	「朝霞の環境」発行約200部	図書館・北朝霞分館、各公民館、市政情報コーナー等30カ 所に配布をした。	
実績に対する評価	ホームページ等を活用し、環境	に配付・掲出するとともに、	
	内容を精査するとともに、市民 が分かりやすい表現や欲しい情 報が得られるような構成に努 め、創意工夫を図る。		

重点的施策: 朝霞の暮らし・文化・環境情報の発信

施策概要: 国や県、大学等の環境に関する学び、イベント等を広く市民に周知する。

m管理▽は関係課: 生涯学習・スポーツ課(旧生涯学習課)

所官課又は関係課:	は			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度	
目標	周知	周知	周知	
実績	生涯学習ガイドブック「コンパス」2019により、環境に関する学び、イベントについて周知に努めた。 発行部数:3,000部	ス」2020により、環境に関す		
実績に対する評価	年度末の残部状況から、おおむ ね周知・啓発することができて いる。			
	引続き環境学習の関係課等と連携を図り、環境学習に関する講座やイベント等の情報提供や周知に努めていく。	携を図り、環境学習に関する講		

重点的施策: 朝霞の暮らし・文化・環境情報の発信

施策概要: 広報・ホームページでの情報提供や文化財施設等を活用した事業のほか、あさか学習お

とどけ講座等を通じて朝霞の暮らし・文化等の情報を発信する。

所管課又は関係課: 文化財課

MERXIGRIM ·	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	周知	周知	周知
実績	広報・ホーハ°-)*等での情報提供 文化財施設等活用事業 博物館 10事業 旧高橋家住宅11事業 市内小学校学習対応 博物館 10校 旧高橋家住宅 6校	広報・ホームペ・・ジ・等での情報提供 文化財施設等活用事業 博物館 9事業 旧高橋家住宅 1事業 市内小学校学習対応 博物館 7校 旧高橋家住宅 0校	
実績に対する評価	加があり、また、旧高橋家住宅	型コロナウイルス感染症の影響 により実施できなかったが、感 染症拡大防止対策を講じたうえ	
今後の取組や見直し事項	広報・ホームページ等を活用した積極的な情報提供を継続し、体験学習や活用事業等による朝霞の暮らし、文化・歴史等に興味を持つ市民の裾野を広げていく。	広報・ホームページ等を活用した積極的な情報提供を継続し、感染症拡大防止対策を講じながら公開することで朝霞の暮らし、文化・歴史等に興味を持つ市民の裾野を広げていく。	

重点的施策: 環境講座の情報提供等

施策概要: 年間を通してリサイクルプラザを利用した各種講座の開催とともに、広報あさかを通じて講座の紹介の他、リサイクルプラザ情報紙の発行を年4回行う。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

川官謀又は関係謀・	貝深リリインル味		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	リサイクルプラザを利用した各種講座を開催する。 広報あさかを通じて講座の紹介をする。 リサイクルプラザ情報紙の発行を年4回行う。	リサイクルプラザを利用した各種講座を開催する。 広報あさかを通じて講座の紹介をする。 リサイクルプラザ情報紙の発行を年4回行う。	リサイクルプラザを利用した各種講座を開催する。 広報あさかを通じて講座の紹介をする。 リサイクルプラザ情報紙の発行を年4回行う。
実績	・講座開催回数 5回・講座参加者数 36人・広報あさか掲載 5回・情報誌の発行 0回・講座等PR 5回	講座開催回数 3回講座参加者数 21人広報あさか掲載 2回情報誌の発行 0回講座等PR 2回	
実績に対する評価	運営協議会が企画・実施し、市は受付業務やPRなどの活動支援に努めた。情報誌発行はのリサイクルプラザ企画運営協議会		
今後の取組 や見直し事項		事業の充実を図り、引続き、ご みの減量や環境に関する情報発 信に努める。	

協働事業: 4-④環境学習を支える人の環づくり

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.94参照

重点的施策: 生涯学習ボランティアバンクの活用

施策概要: 生涯学習ボランティアバンク制度において、環境学習に関する学びの講師登録を支援す

所管課又は関係課: 生涯学習・スポーツ課(旧生涯学習課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	体験教室開催 1回 環境に関する学びの講師登録 1人	体験教室開催 1回 環境に関する学びの講師登録 1人	体験教室開催 1回 環境に関する学びの講師登録 1人
実績	実績なし	実績なし	
実績に対する評価	師登録者が実行委員会を組織し 実施している。令和元年度は、	体験教室は、開催を希望するボランティア講師登録者が実行委員会を組織し実施している。令和2年度は、環境学習に関する学びの講師登録者がいなかったため、開催に至らなかった。	
今後の取組 や見直し事項	引続き環境学習に関する学びの 講師登録と体験教室での活躍に ついて働きかけていく。	引続き環境学習に関する学びの ボランティア講師登録と体験教 室での活躍について働きかけて いく。	

重点的施策: シニア世代の知識、経験等が活用できる環境の整備

施策概要: 環境に関する活動のほか、シニア世代を対象にした事業の実施や、これまで培った技術 や経験を活かし第2の人生として地域活動を行う機会の提供なども行っている市民活動

団体へ事業に要した経費を補助する。

所管課又は関係課: 地域づくり支援課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	環境に関する活動のほか、シニア世代を対象に活動している市民活動団体への事業補助金交付数 3団体	環境に関する活動のほか、シニア世代を対象に活動している市民活動団体への事業補助金交付数 3団体	環境に関する活動のほか、シニア世代を対象に活動している市民活動団体への事業補助金交付数 3団体
実績	環境に関する活動のほか、シニア世代を対象に活動している市民活動団体への事業補助金交付数4団体	ア世代を対象に活動している市	
実績に対する評価	環境に関する活動団体への補助 を行い、目標を達成することが できた。		
今後の取組 や見直し事項	今後も環境に関する活動のほか、シニア世代を対象に活動している市民活動団体も含め、団体が行う事業費の補助や活動に関する相談に応じるなどの支援を行っていく。	今後も環境に関する活動のほか、シニア世代を対象に活動している市民活動団体も含め、新型コロナウイルス感染症による団体への課題やニーズを捉え、団体の運営支援に繋がる取組を行っていく。	

協働事業:4一⑤環境活動団体の環づくり(交流)

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.94参照

重点的施策: あさか環境市民会議の活動の充実

施策概要: あさか環境市民会議と協働し、環境に関する講演会等を実施するとともに、自主的活動

の支援を行う。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

別官誌又は関係誌・	场况]正些环(山场况外上环)		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	あさか環境市民会議と協働し講 演会等の開催及び協力依頼	あさか環境市民会議と協働し講 演会等の開催及び協力依頼	あさか環境市民会議と協働し講 演会等の開催及び協力依頼
実績	・あさか環境市民会議会員向けの懇談会を開催 ・「黒目川・川まつり」に協力	・あさか環境市民会議会員向けの懇談会を開催 ・例年「黒目川・川まつり」に協力しているがコロナウイルス感染拡大防止のため、参加しなかった。	
実績に対する評価	のコミュニケーションを図るた	あさか環境市民会議の会員相互 のコミュニケーションを図るため、懇談会を開催し、様々な意 見交換を行うことができた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、あさか環境市民会議 と協働し、自主活動の支援を行 う。	引き続き、あさか環境市民会議 と協働し、自主活動の支援を行 う。	

重点的施策: あさか環境市民会議の活動の充実

施策概要: 本市の望ましい環境像を実現するため、環境基本計画の推進母体として設立された「あ

さか環境市民会議」等と市が連携し、環境パートナーシップの環づくりを進めるととも

に、環境基本計画を推進する。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	あさか環境市民会議等と協働 し、環境基本計画を推進する。	あさか環境市民会議等と協働 し、環境基本計画を推進する。	あさか環境市民会議等と協働 し、環境基本計画を推進する。
実績	環境基本計画に掲載されている 朝霞を知る活動の実施の一環と して、あさか環境まち歩き及び 視察研修の開催。	コロナウイルス感染拡大防止の ため中止。	
実績に対する評価	あさか環境市民会議等と市が連携し、自然観察会やフィールドワークを実施することで、朝霞を知る活動の場を市民に提供することができた。	コロナウイルス感染拡大防止の ため移動する活動は全て中止と なった。	
今後の取組 や見直し事項	引き続きあさか環境市民会議等 と協働し、環境基本計画を推進 していく。	引き続きあさか環境市民会議等 と協働し、環境基本計画を推進 していく。	

重点的施策: エコネットあさか (リサイクルプラザ) での環境学習・活動事業等の普及、朝霞

市リサイクルプラザ企画運営協議会との連携充実・支援

施策概要: 朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会と市との協働により、ごみの減量や資源循環等

に関する各種講座・教室・イベントを企画運営する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

※ P. 44「重点的施策:朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会との連携充実・支

援」参照

重点的施策: 市民活動団体の活動促進

施策概要: 市民が一体となって清掃活動を行うことで、河川の美化を図り、憩いの場としての環境

を整えるとともに、参加者や地域の連帯感を育む。

所管課又は関係課: 地域づくり支援課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	広報による周知(3月) 清掃活動の実施(3月)	広報による周知(3月) 清掃活動の実施(3月)	広報による周知(3月) 清掃活動の実施(3月)
実績	毎年1回、朝霞市コミュニティ協議会主催で、黒目川堤防清掃活動を実施しており、令和元年度においても実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止とした。	毎年1回、朝霞市コミュニティ協議会主催で、黒目川堤防清掃活動を実施しており、令和2年度においても実施する予定だが、新型コロナウイルス感染症に対する有効な対策を講じることが難しいと判断し、中止とした。	
実績に対する評価	当日は中止であったが、事業を進めていく中で河川の美化活動を継続する必要性について改めて認識し、朝霞市コミュニティ協議会加盟団体内で、共有することができた。	進めていく中で河川の美化活動 を継続する必要性について改め て認識し、朝霞市コミュニティ	
今後の取組 や見直し事項	次年度の実施に向け、取り組ん でいく	感染状況等を注視するととも に、活動の際に有効な感染症対 策を検討するなど、次年度の実 施に向け、取り組んでいく。	

重点的施策: 市民活動団体の活動推進

施策概要: 特定非営利活動促進法(第2条別表)に定められている20項目の活動分野のうち「環境

の保全を図る活動」を行っている市民活動団体も含め、団体が活動しやすいよう、市民活動支援の拠点である「市民活動支援ステーション・シニア活動センター」の利用促進を図

る。

所管課又は関係課: 地域づくり支援課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	「環境の保全を図る活動」を 行っている市民活動団体の「市 民活動支援ステーション・シニア活動セン ター」利用件数 25件	「環境の保全を図る活動」を 行っている市民活動団体の「市 民活動支援ステーション・シニア活動セン ター」利用件数 25件	「環境の保全を図る活動」を 行っている市民活動団体の「市 民活動支援ステーション・シニア活動セン ター」利用件数 25件
実績	民活動支援ステーション・シニア活動セン	「環境の保全を図る活動」を 行っている市民活動団体の「市 民活動支援ステーション・シニア活動セン ター」利用件数 24件	
実績に対する評価		環境に関する活動団体の施設利用はあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により目標数は達成することができなかった。	
今後の取組 や見直し事項	「環境の保全を図る活動」を 行っている団体も含め、運営に 関する相談への対応のほか、 ミーティングテーブルや印刷機 などの活動に必要な備品の利用 提供するなどして、利用促進を 図り、団体が活動しやすいよう 支援を行っていく。	「環境の保全を図る活動」を 行っている団体も含め、新型コロナウイルス感染症による団体への課題やニーズを捉え、団体の運営支援に繋がる取組を行っていく。	

重点的施策: 市民活動団体の活動促進

施策概要: 明るく安らぎと潤いのある生活環境を目指し、多くの市民の目に触れられる道路等に面

した場所に草花の苗や種子、球根を植えて、花いっぱい運動を推進し、市民と協働によ

る花を活かしたまちづくりを推進する。

所管課又は関係課: 環境推進課 (旧環境保全課)

※ P. 8「重点的施策: 住宅地・民間施設の緑化推進」参照

重点的施策: 市民活動団体の活動促進

施策概要: 市民ボランティア団体や企業などの参加による緑地の維持管理を推進し、市民と連携し

ながら協働による里山づくりや緑地広場づくりを推進する。

前管理▽は関係課: みどり公園課(旧都市計画課)

川官誌又は関係誌・)	
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	ボランティアによる維持管理、 新規ボランティアの募集	ボランティアによる維持管理、 新規ボランティアの募集	ボランティアによる維持管理、 新規ボランティアの募集
実績	場、ふれあい花壇 活動内容:下草刈り、清掃、花	活動場所:宮戸緑地、岡緑地、 根岸台8丁目緑地、田島緑地、 朝志ヶ丘緑地、浜崎黒目花広 場、ふれあい花壇	
実績に対する評価	ボランティア団体による緑地・ 広場の管理で、里山の再生・保 全や広場での花の植栽など市民 により行われた。	広場の管理で、里山の再生・保	
今後の取組 や見直し事項	里山の再生・保全など市民によ る管理に努める。	里山の再生・保全など市民による管理に努める。	

重点的施策: 市民活動団体の活動促進

施策概要: 市が管理する道路等において、市民と行政が協力して、快適で美しい道路環境づくりを推進する。また、道路愛護意識の向上を図るために、ボランティアで道路美化活動を行

う市民団体等に植栽する花の苗等の配布支援を行っている。

所管課又は関係課: 道路整備課(旧道路交通課)

※ P. 10「重点的施策:公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化等)」参照

重点的施策: 環境保全活動団体のネットワークづくり

施策概要: 市内を中心に活動を行っている環境保全団体の把握及び情報の提供・交換を行う。

所管課又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	市民団体等と協働し環境保全活 動団体間のネットワーク作り	市民団体等と協働し環境保全活動団体間のネットワーク作り	市民団体等と協働し環境保全活動団体間のネットワーク作り
実績			
実績に対する評価	各団体の把握及び情報の提供・ 交換を行い、あさか環境市民会 議及びリサイクルプラザ企画運 営協議会と市が連携し、環境 パートナーシップの環づくりを 進めることができた。	各団体の把握及び情報の提供・ 交換を行い、あさか環境市民会 議及びリサイクルプラザ企画運 営協議会と市が連携し、環境 パートナーシップの環づくりを 進めることができた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、各団体との連携を 図っていきたい。	引き続き、各団体との連携を 図っていきたい。	

放射性物質による環境汚染への対応

※ 冊子「第2次朝霞市環境基本計画」P.86参照

事業名: 空間放射線量の継続的な測定

事業概要: 子どもたちが遊ぶ校庭、園庭、公園等で空間放射線量の継続的な測定を行い、測定結果をホームページに掲載することで、市民の安心・安全な生活環境の保全に寄与する。 (市で定めた除染の判断基準値:空間線量率が毎時0.19マイクロシーベルト)

所管課又は関係課:	環愔推准課	(旧環境保全課)	• 施設所管課

//	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標		校、中学校、公園等の測定、	市役所、保育園、幼稚園、小学校、中学校、公園等の測定、 ホームページ掲載

谔愔推准理(旧瑨愔保全理)

<u> </u>	、旧境児休王誅/		
実績	空間放射線量測定、測定結果の 市ホームページ掲載を実施 ・市役所 週1回 ・ホットスポット 42施設87箇所	空間放射線量測定、測定結果の 市ホームページ掲載を実施 ・市役所 週1回 ・ホットスポット 42施設87箇所	
実績に対する評価	定期的に測定を行うことにより、市内の放射線量を把握することができた。また、ホームページへの掲載により市民等への周知が図れた。	定期的に測定を行うことにより、市内の放射線量を把握することができた。また、ホームページへの掲載により市民等への周知が図れた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き放射線測定を実施し、 市内の放射線量に注視してい く。	引き続き放射線測定を実施し、 市内の放射線量に注視してい く。	

みどり公園課(旧都市計画課)

実績	空間放射線量の測定、年に4回 実施。 ・都市公園 5箇所 ・児童遊園地 5箇所	空間放射線量の測定、年に4回 実施。 ・都市公園 5箇所 ・児童遊園地 5箇所		
実績に対する評価		定期的に測定することにより、 市民が園内を安全かつ安心して 利用することに寄与することが できた。		
今後の取組 や見直し事項	引き続き、環境測定を実施し、 園内の放射線量を注視してい く。	引き続き、環境測定を実施し、 園内の放射線量を注視してい く。		

保育課(旧子育て支援課)

実績	年4回保育園27園、幼稚園5 園の園庭の測定を実施、ホーム ページに掲載		
実績に対する 評価	市民の安心・安全な生活環境の 保全に寄与することができた。	市民の安心・安全な生活環境の保全に寄与することができた。	
今後の取組 や見直し事項		引き続き、園庭の測定を年に4 回実施する。	

教育管理課

実績	基準値を超えた箇所がなかった ため、除染実績なし。	年4回朝霞市内の小中学校全1 5校の校庭の測定を実施、ホームページに掲載	
実績に対する評価	各測定箇所において、基準値を 超過するような値ではないこと を確認できた。	学校に通学する児童・生徒及び その保護者の安心・安全な生活 環境の保全に寄与することがで きた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き放射線測定を実施し、 市内放射線量に注視していく。	引き続き、学校の校庭の測定を 各学期に実施する。	

事業名: 放射線量測定器の貸出

事業概要: 放射線測定器を市内在住・在勤の方に貸出することで、自らが任意の場所で線量の数値

を確認することができる。

m觉課又は関係課: 環境推進課(旧環境保全課)

別日味人は関示味・			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	放射線量測定器 5台を貸出	放射線量測定器 5台を貸出	放射線量測定器 5台を貸出
実績	放射線量測定器 貸出件数 令和元年度 13件 (累計件数521件)	放射線量測定器 貸出件数 令和元年度 17件 (累計件数538件)	
実績に対する評価	放射線量測定器の貸出を希望する市内に居住、通勤、又は通学 している方に貸出を行うことが できた。	放射線量測定器の貸出を希望する市内に居住、通勤、又は通学 している方に貸出を行うことが できた。	
今後の取組 や見直し事項	放射線量測定器の貸出を希望される方が減少していることから、より利用しやすい方法を検討する。	放射線量測定器の貸出を希望される方が減少していることから、より利用しやすい方法を検討する。	

事業名: 公共施設の除染

事業概要: 公共施設において市で定めた除染の判断基準値である空間線量率が毎時0.19マイクロ

シーベルトを超えた箇所については、「朝霞市における放射線量基準に関する当面の考

え方」に基づき除染を行う。

所管課又は関係課:環境推進課(旧環境保全課)·施設所管課

一方 日本人のうるかん。			
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	「朝霞市における放射線量基準に関する当面の考え方」に基づき除染を行う。	「朝霞市における放射線量基準 に関する当面の考え方」に基づ き除染を行う。	「朝霞市における放射線量基準 に関する当面の考え方」に基づ き除染を行う。

環境推進課(旧環境保全課)

実績	基準値を超えた箇所がなかった ため、除染実績なし。	基準値を超えた箇所がなかった ため、除染実績なし。	
実績に対する評価	各測定箇所において、基準値を 超過するような値ではないこと を確認できた。		
今後の取組 や見直し事項		引き続き放射線測定を実施し、 市内放射線量に注視していく。	

保育課(旧子育て支援課)

実績	基準値を超えた箇所がなかった ため、除染実績なし。	基準値を超えた箇所がなかった ため、除染実績なし。	
実績に対する評価	各測定箇所において、基準値を 超過するような値ではないこと を確認できた。		
今後の取組 や見直し事項		引き続き放射線測定を実施し、 市内放射線量に注視していく。	

教育管理課

実績	年4回朝霞市内の小中学校全15校の校庭の測定を実施、ホームページに掲載	基準値を超えた箇所がなかった ため、除染実績なし。	
実績に対する評価	学校に通学する児童・生徒及び その保護者の安心・安全な生活 環境の保全に寄与することがで きた。	各測定箇所において、基準値を 超過するような値ではないこと を確認できた。	
今後の取組 や見直し事項	引き続き、学校の校庭の測定を 年4回実施する。	引き続き放射線測定を実施し、 市内放射線量に注視していく。	

事業名: 給食食材の継続的な測定

事業概要: 児童・生徒の健康と健全な発育を守るため、小・中学校及び保育園の給食食材の放射性

物質の測定を継続し、安心・安全な給食食材を提供する。

所管課又は関係課: 学校給食課・保育課(旧子育て支援課)

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	給食食材についての放射性物質	給食食材についての放射性物質	給食食材についての放射性物質
	の継続的測定	の継続的測定	の継続的測定

学校給食課

3 17(1) D (D) 1			
実績		事務補助員2人により、給食食材の放射性物質の測定を実施。	
		児童生徒に安全・安心な給食を 提供することができた。	
今後の取組 や見直し事項	引続き継続して取り組んでい く。	引続き継続して取り組んでい く。	

保育課(旧子育で支援課)

実績	毎日2園ずつ測定し、保育園33 園の測定を実施。	毎日2園ずつ測定し、保育園34 園の測定を実施。	
実績に対する 評価	安心・安全な給食を提供することができた。	安心・安全な給食を提供することができた。	
今後の取組 や見直し事項	今後も継続して取り組んでい く。	今後も継続して取り組んでい く。	

事業名: 農作物の継続的な測定

事業概要: 朝霞市農産物等の安心・安全の確保、市民の不安解消、風評被害を防止するため、朝霞

産農産物等への影響調査を行う。

所管課又は関係課: 産業振興課

	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	季節の野菜 年3回程度測定	季節の野菜 年3回程度測定	季節の野菜 年3回程度測定
実績	検査検体数:5検体 検査品目数:4品目	検査検体数:5検体 検査品目数:3品目	
実績に対する評価	朝霞市産農産物の放射性物質の 測定を行い、安全性を確認した ことにより、市民の不安解消、 風評被害を防ぐことができた。	朝霞市産農産物の放射性物質の 測定を行い、安全性を確認した ことにより、市民の不安解消、 風評被害を防ぐことができた。	
今後の取組 や見直し事項	の確保、市民の不安解消、風評被害を防止するため、引き続き		

事業名: 焼却灰の放射性物質の継続的測定

事業概要: 市民の安心、安全を確保するためクリーンセンターのごみ焼却処理施設から排出された

焼却灰の放射性物質を継続的に測定する。

所管課又は関係課: 資源リサイクル課

MENA MANAGEMENT	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	焼却灰の放射性物質継続的測定	焼却灰の放射性物質継続的測定	焼却灰の放射性物質継続的測定
実績		・検査項目 セシウム134、セシウム137 ・検査方法 が IV こり半導体検出器を用いた が IV にり、半導体検出器を用いた が IV による核種分析法 ・検査品目 ①焼却灰及び飛灰物 ②破砕処理後の不燃物 ・検体数量 各1検体の計2検体 ・検査回数 毎月1回 年間12回 (不燃物は1検体、年1回)	
実績に対する評価	国が定める基準値(8,000ベクレル)を大幅に下回る結果となった。	国が定める基準値(8,000ベク レル)を大幅に下回る結果と なった。	
今後の取組 や見直し事項	当分の間、測定を継続する。	当分の間、測定を継続する。	

<用語解説> セシウム134、セシウム137:放射性物質の一種で、国が定める放射性物質の基準値の検査項目として用いられる。

事業名: 浄水場の水道水の放射性物質の継続的測定

事業概要: 市民に安心、安全な水道水を供給するため、浄水場の水道水の放射性物質を継続的に測

定する。

所管課又は関係課: 水道施設課

別官誌又は関係誌・	小烂池以休		
	令和元年度	令和2年度	【目標年次】 令和3年度
目標	浄水場3箇所の水道水の放射性 物質継続的測定	浄水場3箇所の水道水の放射性 物質継続的測定	浄水場3箇所の水道水の放射性 物質継続的測定
実績	各浄水場の放射性物質は年4回 測定を実施したが、放射性セシウム・放射性ヨウ素は検出されなかった。	各浄水場の放射性物質は年4回 測定を実施したが、放射性セシウム・放射性ヨウ素は検出されなかった。	
実績に対する評価	水道水に放射性セシウム・放射性ヨウ素が含まれていなかったことが確認できたことから、水道水の安全性が確保されている。		
今後の取組 や見直し事項	令和元年度以降も継続的に実施 していく。	令和2年度以降も継続的に実施 していく。	

〈用語解説〉 放射性セシウム、放射性ヨウ素:放射性物質の一種。放射性物質は放射能(放射性物質が放射線を 出す能力のこと)をもつ物質を意味する。



©むさしのフロントあさか

第2次朝霞市環境基本計画 実施計画(令和2年度実績版)

(平成30年度~令和3年度)

水と緑を育む 環境にやさしいまち 朝霞

令和3年12月発行

朝霞市 市民環境部 環境推進課

〒351-8501 朝霞市本町1丁目1番1号

電話 048-463-1504 (直通)

URL http://www.city.asaka.lg.jp/